

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成25年4月～6月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成25年11月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要.....	1
(1) 調査対象期間.....	1
(2) 共通基準について.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 調査体系.....	2
(5) 集計対象(範囲).....	2
(6) 用語の定義.....	3
(7) その他.....	4
2. 調査結果.....	5
(1) 調査対象地点数.....	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数).....	5
(3) 観光入込客数(実人数).....	12
(4) 観光消費額.....	15

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要.....	19
2. 観光客の動向分析.....	20
(1) 問1 住まいの地域.....	20
(2) 問2 性別・年代.....	21
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数.....	22
(4) 問4 訪問の目的.....	24
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ.....	24
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数.....	25
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問).....	25
(8) 問8 観光地への交通機関.....	26
(9) 問9 今回の旅行費用について.....	27

## 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

### 1. 調査概要

#### (1) 調査対象期間

平成25年4月1日～平成25年6月30日（第1四半期）

#### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

#### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

##### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

##### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

##### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

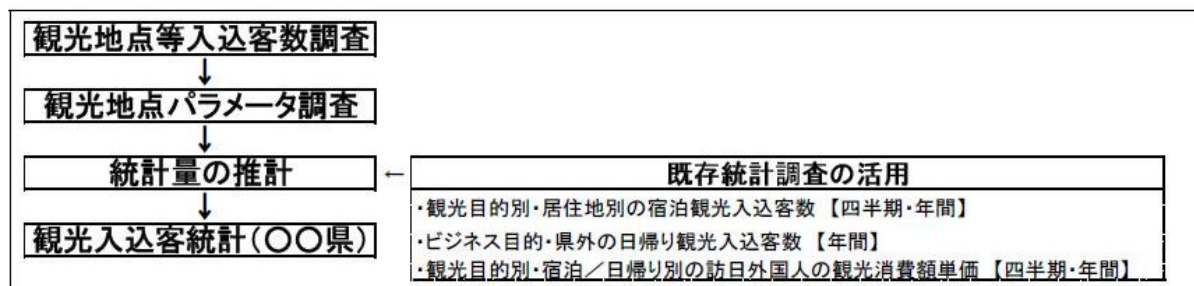


図1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象(範囲)

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者=日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。



図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 258、行祭事・イベントが 114 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
258	32	57	71	55	21	22	114

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 25 年 4 月～6 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 7,577,523 人回となり、前年度比で 102.8%となった。また、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 99.9%となり、ほぼ震災前の水準まで回復している。これは、前年度に開催した「いわてデスティネーションキャンペーン」、いわてDCありがとうキャンペーンに引き続き実施した「うまっ！いわて観光キャンペーン」の展開や、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送による効果があるものと考えられる。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが 3,567,393 人回と最も多く、県北エリアが 804,748 人回と最も少ない。前年度比では、沿岸エリア 127.8%、県北エリア 122.9%と大幅に増加していることから、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送の効果により、久慈市をはじめとした沿岸地域への誘客が図られていると見られる。

一方、県央エリア、県南エリアでは 100%をやや下回っているものの、震災前の平成 22 年度実績を上回っていることから、前年度に開催した「いわてデスティネーションキャンペーン」の誘客効果や、平泉の世界遺産登録効果が維持されているものと考えられる。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	4 月	5 月	6 月	平成 25 年度 4-6 期合計	平成 24 年度比	平成 24 年度 4-6 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 4-6 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 4-6 期合計
県央エリア	451,855	776,459	844,589	2,072,903	96.6%	2,146,901	129.8%	1,596,405	110.7%	1,872,448
県南エリア	1,022,273	1,613,059	932,061	3,567,393	96.9%	3,680,249	163.5%	2,181,871	102.8%	3,469,347
沿岸エリア	259,489	484,538	388,452	1,132,479	127.8%	886,468	349.1%	324,364	73.5%	1,541,323
県北エリア	205,007	335,920	263,821	804,748	122.9%	654,999	128.2%	627,899	114.1%	705,203
総計	1,938,624	3,209,976	2,428,923	7,577,523	102.8%	7,368,617	160.2%	4,730,539	99.9%	7,588,321

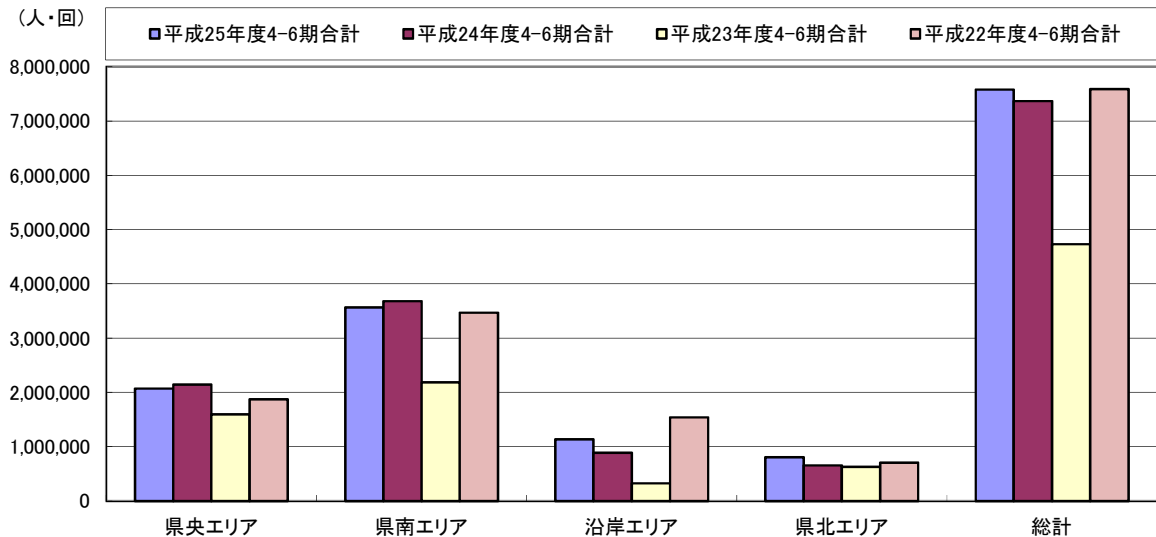


図3 地域別入客数 (延べ人数から算出)

### ③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表3及び図4に示すとおりである。

ゴールデンウィークを含む5月が3,209,976人回と最も多い。前年度比では、4月が98.1%であるものの、5月、6月は100%を超えている。月別でも4月から増加傾向にあることから、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送により沿岸地域の認知度が徐々に向上し、その効果が表れているものと考えられる。一方、平成22年度比では、6月は106.8%と増加を見せたが、4月、5月は100%を下回り、未だ震災前の入込には至っていない。

表3 月別入込客数 (延べ人数)

単位：人回

月	平成25年度	平成24年度比	平成24年度	平成23年度比	平成23年度	平成22年度比	平成22年度
4月	1,938,624	98.1%	1,975,729	191.8%	1,010,989	99.5%	1,947,672
5月	3,209,976	102.8%	3,123,275	169.5%	1,894,290	95.3%	3,366,690
6月	2,428,923	107.0%	2,269,613	133.1%	1,825,260	106.8%	2,273,959

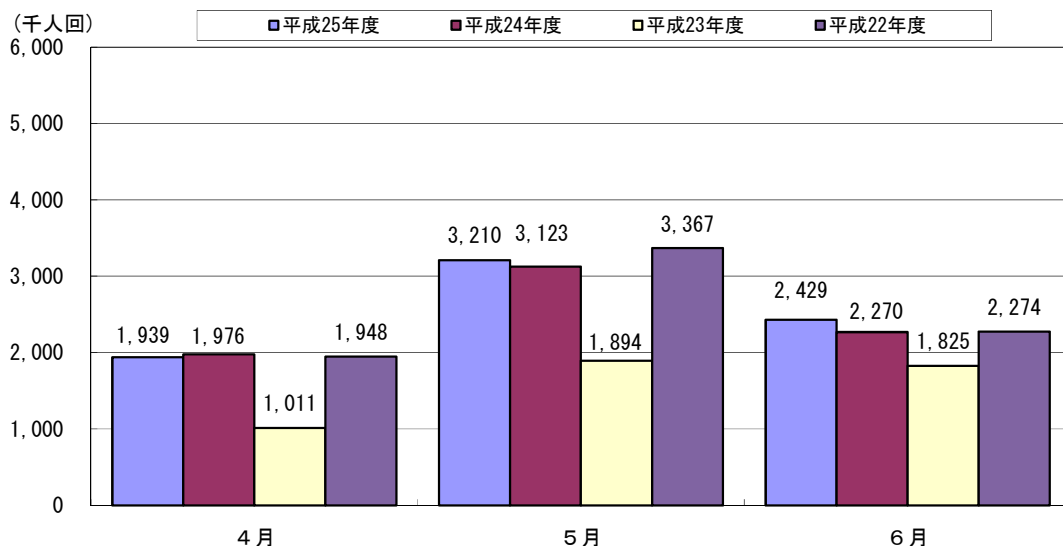


図4 月別入込客数 (延べ人数から算出)



#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2、7-1及び7-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは平泉町の734,973人回で、次いで盛岡市の676,461人回、北上市の573,839人回となった。また、前年度比では、陸前高田市の347.1%、久慈市195.9%、田野畑村の180.1%など、沿岸の市町村の入込客数の増加が、岩手県全域の増加要因となっている。入込客数の多い平泉町、盛岡市は前年度比で70%台まで減少しているものの、平成22年度実績は上回っている。これは、平泉町は世界遺産登録のブームが落ち着きを見せ始めていること、盛岡市は前年度の「いわてデスティネーションキャンペーン」期間中の大型イベント入込客の増加の反動などが要因として考えられる。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

地域別	4月	5月	6月	4-6期合計	平成24年度 年度比	平成24年度 4-6期合計	平成23年度 年度比	平成23年度 4-6期合計	平成22年度 年度比	平成22年度 4-6期合計
盛岡市	114,210	237,648	324,603	676,461	74.3%	910,953	130.4%	518,785	113.8%	594,367
宮古市	49,996	114,896	85,641	250,533	128.6%	194,758	336.3%	74,500	84.0%	298,340
大船渡市	100,411	135,055	170,269	405,735	124.1%	326,915	389.5%	104,157	114.7%	353,637
花巻市	114,783	189,651	199,475	503,909	97.9%	514,786	127.8%	394,158	104.6%	481,833
北上市	302,313	250,225	21,301	573,839	137.0%	418,798	405.1%	141,670	111.5%	514,438
久慈市	60,078	78,888	79,664	218,630	195.9%	111,586	293.5%	74,491	221.0%	98,909
遠野市	122,556	187,899	159,909	470,364	93.2%	504,611	84.2%	558,780	88.5%	531,643
一関市	117,291	239,589	205,603	562,483	95.8%	587,060	108.7%	517,648	90.3%	622,937
陸前高田市	14,913	21,456	17,912	54,281	347.1%	15,639	-	-	25.9%	209,212
釜石市	20,666	27,552	22,369	70,587	89.8%	78,563	327.6%	21,549	36.7%	192,455
二戸市	22,536	45,616	22,302	90,454	98.7%	91,633	95.6%	94,633	88.2%	102,517
八幡平市	110,106	136,486	127,483	374,075	156.9%	238,492	180.4%	207,313	136.1%	274,913
奥州市	203,449	158,982	136,165	498,596	99.9%	499,194	307.7%	162,022	97.2%	512,725
雫石町	116,833	215,006	145,590	477,429	98.3%	485,751	122.6%	389,378	111.3%	429,052
葛巻町	22,169	43,281	107,186	172,636	129.0%	133,844	105.1%	164,229	95.6%	180,595
岩手町	16,201	23,572	22,672	62,445	100.4%	62,217	105.1%	59,397	108.3%	57,640
滝沢村	11,092	53,457	63,150	127,699	102.7%	124,312	243.7%	52,394	137.8%	92,662
紫波町	37,472	45,838	35,836	119,146	95.6%	124,659	85.3%	139,649	71.9%	165,767
矢巾町	23,772	21,171	18,069	63,012	94.5%	66,673	96.6%	65,260	81.4%	77,452
西和賀町	35,943	51,134	41,164	128,241	105.1%	122,061	99.7%	128,686	105.7%	121,332
金ヶ崎町	29,404	32,611	32,973	94,988	96.5%	98,393	98.8%	96,145	89.5%	106,144
平泉町	96,534	502,968	135,471	734,973	78.6%	935,346	402.1%	182,762	127.1%	578,295
住田町	7,328	11,989	10,053	29,370	98.0%	29,958	71.7%	40,963	88.0%	33,393
大槌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21,123
山田町	17,007	19,044	17,933	53,984	94.6%	57,087	-	-	68.3%	78,984
岩泉町	23,818	45,146	31,575	100,539	111.0%	90,548	155.5%	64,655	83.8%	119,929
田野畑村	25,350	109,400	32,700	167,450	180.1%	93,000	903.2%	18,540	71.5%	234,250
普代村	5,212	5,605	5,424	16,241	108.7%	14,945	413.3%	3,930	141.6%	11,468
軽米町	6,092	27,498	8,206	41,796	116.8%	35,789	115.5%	36,197	76.3%	54,768
野田村	20,761	28,470	30,161	79,392	111.1%	71,490	111.3%	71,325	98.2%	80,834
九戸村	3,192	3,883	4,843	11,918	110.9%	10,744	107.1%	11,131	106.0%	11,247
洋野町	65,021	91,467	79,555	236,043	113.1%	208,638	104.7%	225,410	102.1%	231,182
一戸町	22,115	54,493	33,666	110,274	100.1%	110,174	99.5%	110,782	96.5%	114,278
総計	1,938,624	3,209,976	2,428,923	7,577,523	102.8%	7,368,617	160.2%	4,730,539	99.9%	7,588,321

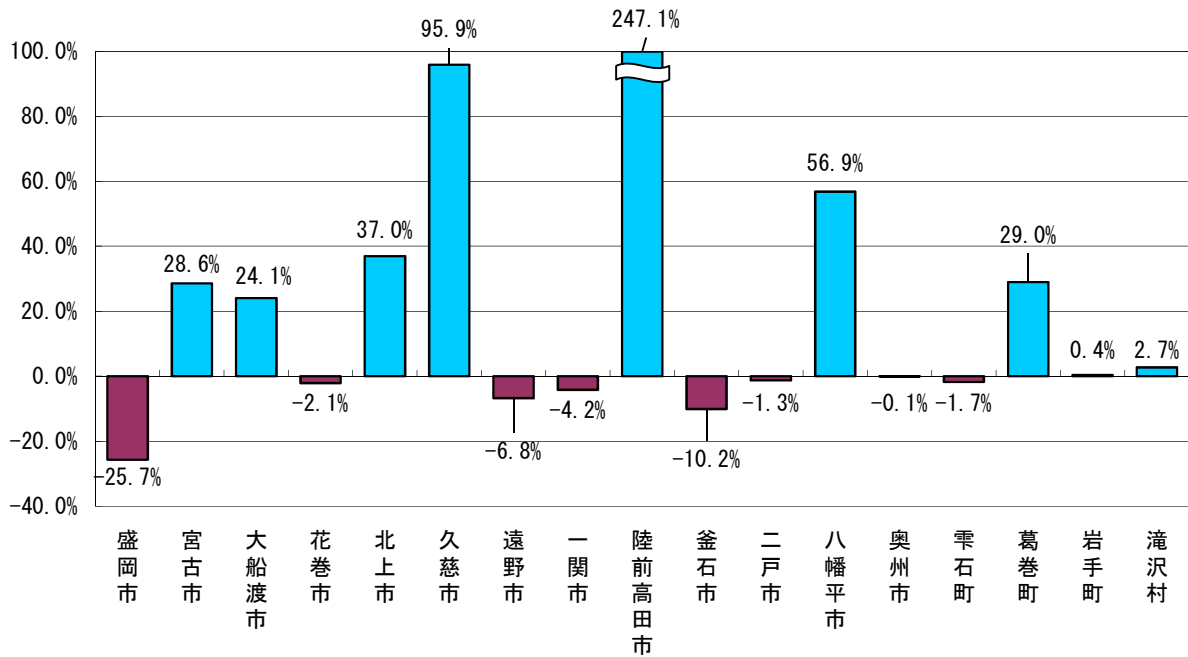


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(1)

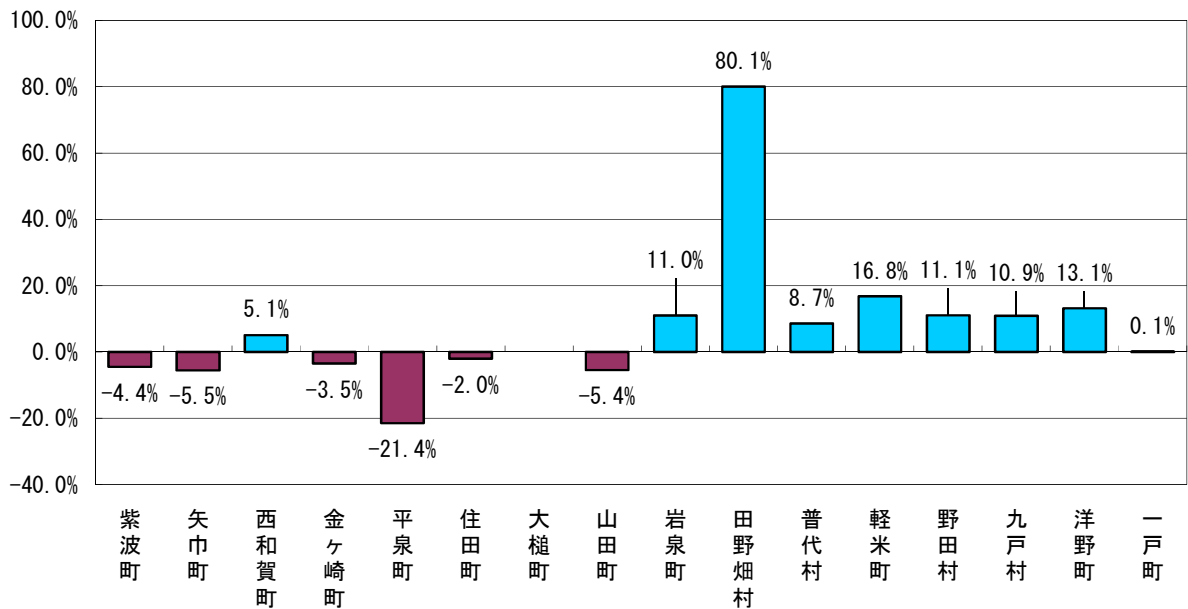


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(2)

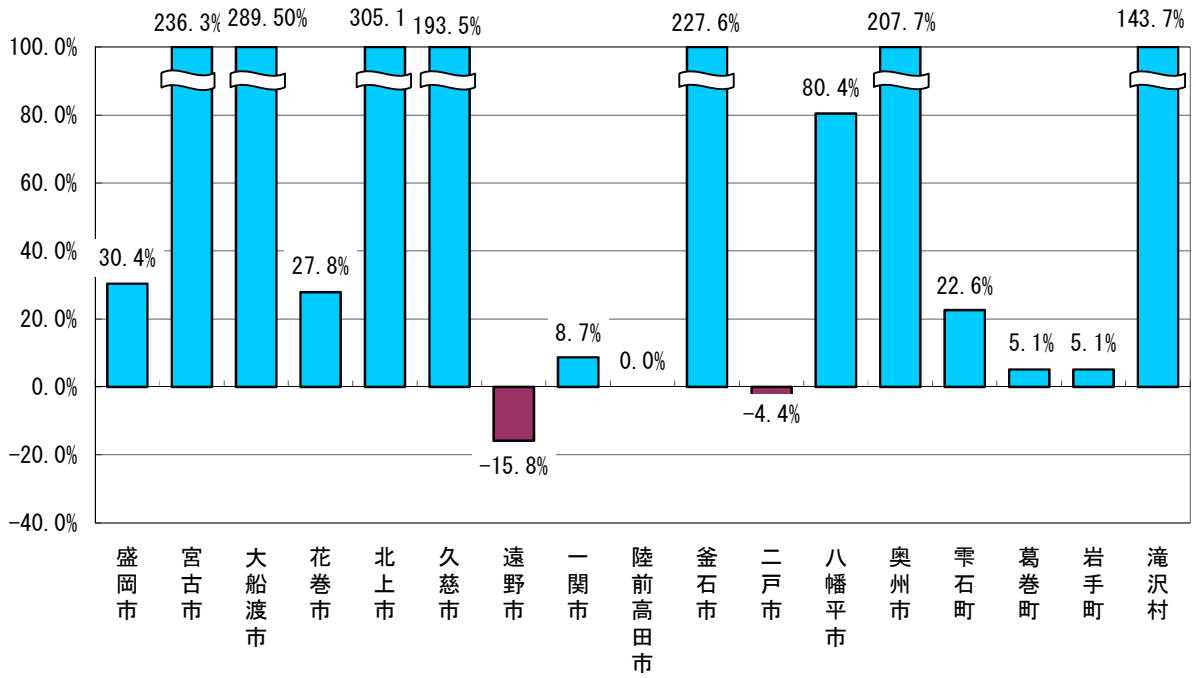


図6-1 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(1)

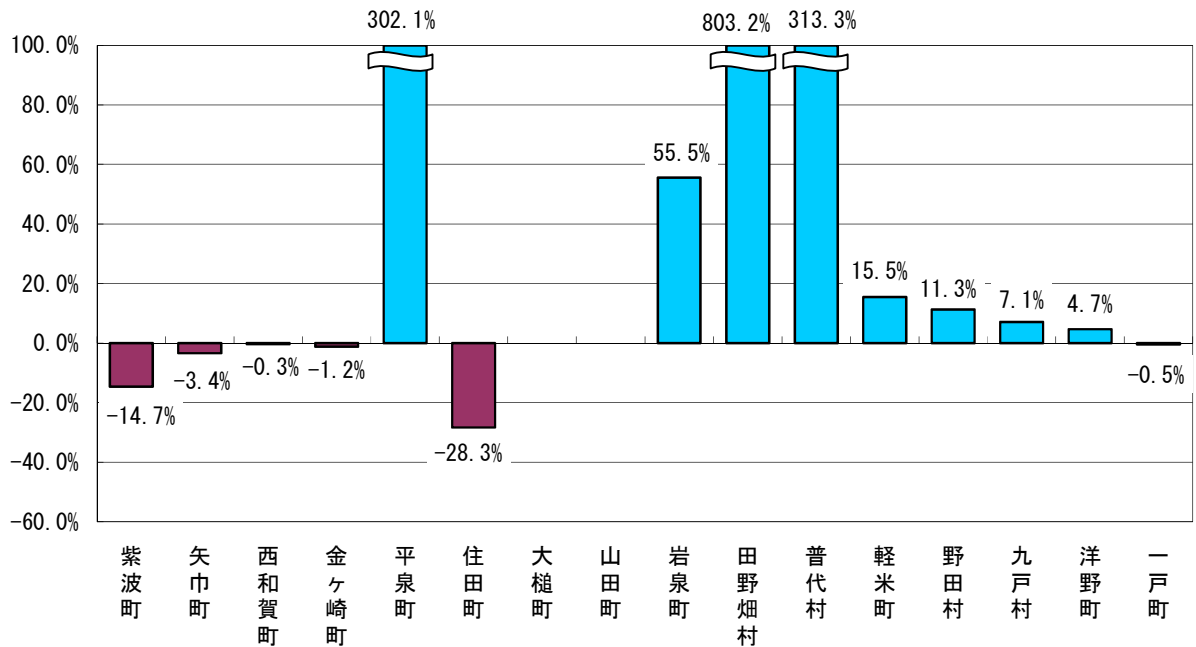


図6-2 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(2)

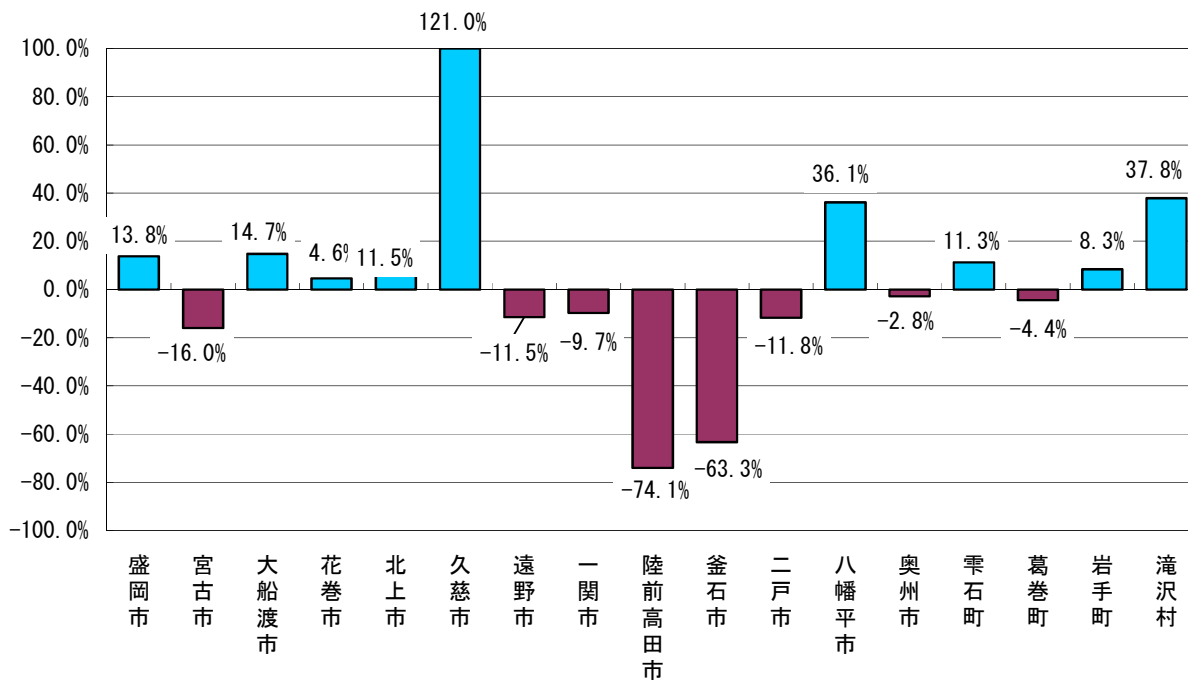


図 7-1 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (1)

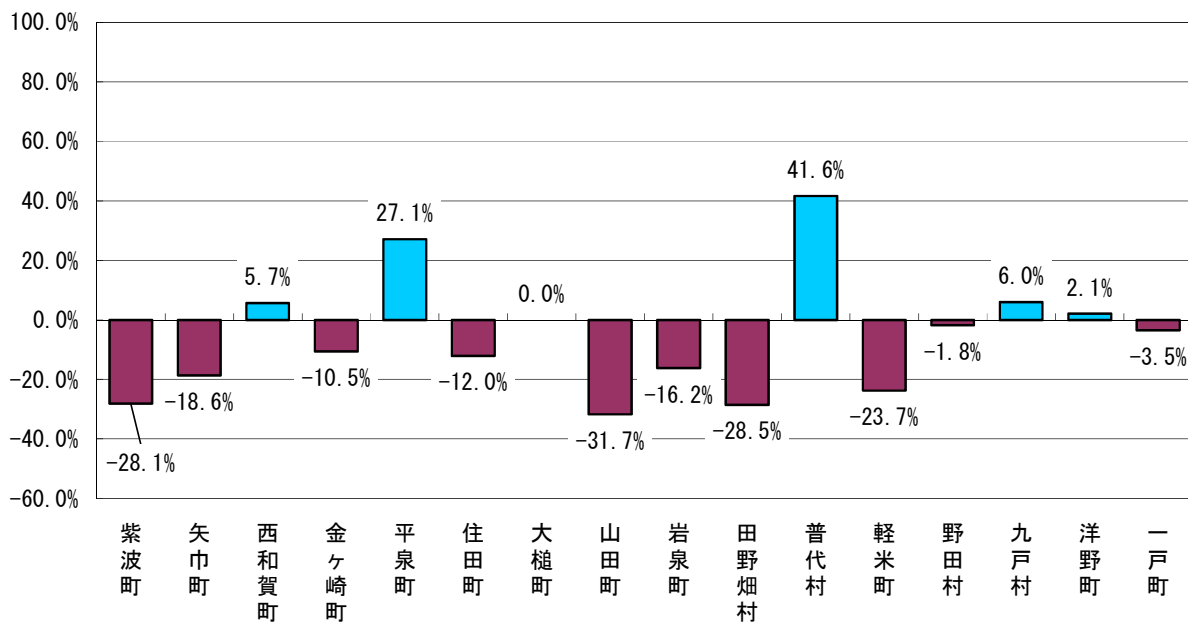


図 7-2 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表5及び図7に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「自然」が1,449,874人回と最も多く、沿岸エリアで最も多い入込割合を占めている。次いで「温泉・健康」の1,371,081人回である。その他、県南エリアでは「行祭事・イベント」の入込割合が多く、県北エリアでは「都市型観光（買物・食）」の入込割合が多い。「その他」は道の駅等での入込客が主となっており、沿岸エリアで最も多い入込割合を占めている。

また、前年度比で、県央エリアの「行祭事・イベント」が、約半分程度まで減少している。

表5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	312,513	300,457	598,420	378,551	57,872	204,343	220,747
県南エリア	451,767	648,223	552,541	238,569	508,556	33,573	1,134,164
沿岸エリア	535,171	34,068	81,517	9,452	136,470	310,436	25,365
県北エリア	150,423	49,930	138,603	45,012	176,619	156,513	87,648
総計	1,449,874	1,032,678	1,371,081	671,584	879,517	704,865	1,467,924

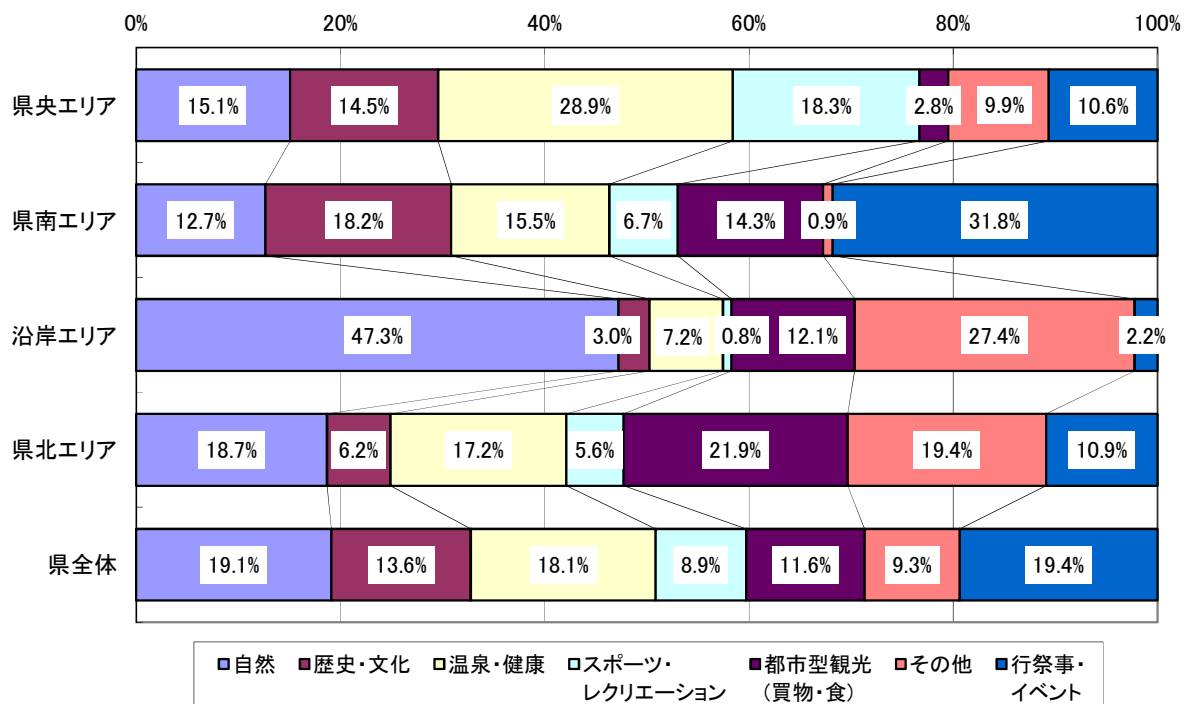


図8 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6、表 7 及び図 9 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 74.1%、平成 23 年度比 76.1%、平成 22 年度比 52.6%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊客は、平成 24 年度比 101.7%、平成 23 年度比 117.9%、平成 22 年度比 113.0%であり、震災前の水準を上回っている。要因として、県外客の増加割合が高いことから、「うまっ！いわて観光キャンペーン」の展開や NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送による効果があるものと見られる。一方、県内客は減少傾向にある。

また、日帰り客は県内客、県外客とも過年度を下回っており、日帰り観光自体が減少傾向にある。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 90.1%、平成 23 年度比 168.7%となった。東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			4-6 期合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	653	443	210	1,259	506	753	1,912
平成 24 年度比	101.7%	104.2%	96.8%	65.0%	64.8%	65.1%	74.1%
平成 24 年度 4-6 期合計	642	425	217	1,938	781	1,157	2,580
平成 23 年度比	117.9%	141.1%	87.5%	64.3%	57.3%	70.1%	76.1%
平成 23 年度 4-6 期合計	554	314	240	1,957	883	1,074	2,511
平成 22 年度比	113.0%	121.4%	98.6%	41.2%	47.6%	37.8%	52.6%
平成 22 年度 4-6 期合計	578	365	213	3,056	1,064	1,992	3,634
ビジネス兼観光目的入込客数	425	287	138	282	220	62	707
平成 24 年度比	86.2%	81.3%	98.6%	96.6%	386.0%	26.4%	90.1%
平成 24 年度 4-6 期合計	493	353	140	292	57	235	785
平成 23 年度比	123.9%	123.7%	124.3%	371.1%	皆増	81.6%	168.7%
平成 23 年度 4-6 期合計	343	232	111	76	0	76	419
平成 22 年度比	111.3%	108.3%	117.9%	243.1%	1833.3%	59.6%	142.0%
平成 22 年度 4-6 期合計	382	265	117	116	12	104	498

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

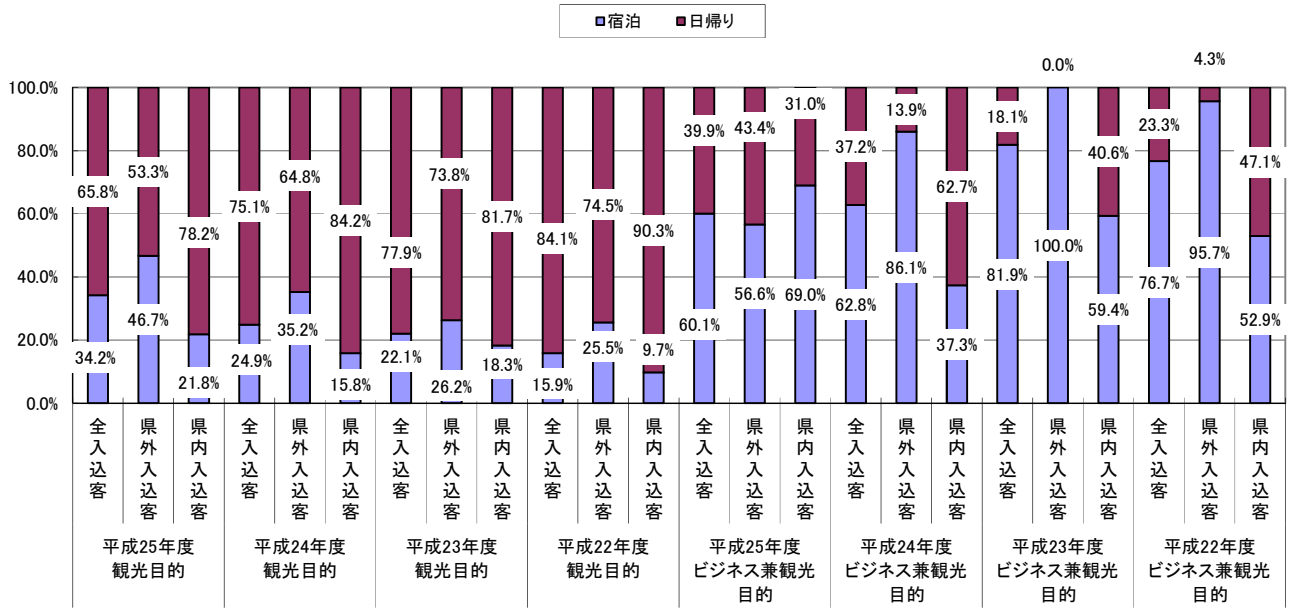


図9-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			4-6期合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的入込客数	949	443	506	963	210	753	1,912
平成24年度比	78.7%	104.2%	64.8%	70.1%	96.8%	65.1%	74.1%
平成24年度4-6期合計	1,206	425	781	1,374	217	1,157	2,580
平成23年度比	79.3%	141.1%	57.3%	73.3%	87.5%	70.1%	76.1%
平成23年度4-6期合計	1,197	314	883	1,314	240	1,074	2,511
平成22年度比	66.4%	121.4%	47.6%	43.7%	98.6%	37.8%	52.6%
平成22年度4-6期合計	1,429	365	1,064	2,205	213	1,992	3,634
ビジネス兼観光目的入込客数	507	287	220	200	138	62	707
平成24年度比	123.7%	81.3%	386.0%	53.3%	98.6%	26.4%	90.1%
平成24年度4-6期合計	410	353	57	375	140	235	785
平成23年度比	218.5%	123.7%	皆増	107.0%	124.3%	81.6%	168.7%
平成23年度4-6期合計	232	232	0	187	111	76	419
平成22年度比	183.0%	108.3%	1833.3%	90.5%	117.9%	59.6%	142.0%
平成22年度4-6期合計	277	265	12	221	117	104	498

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない

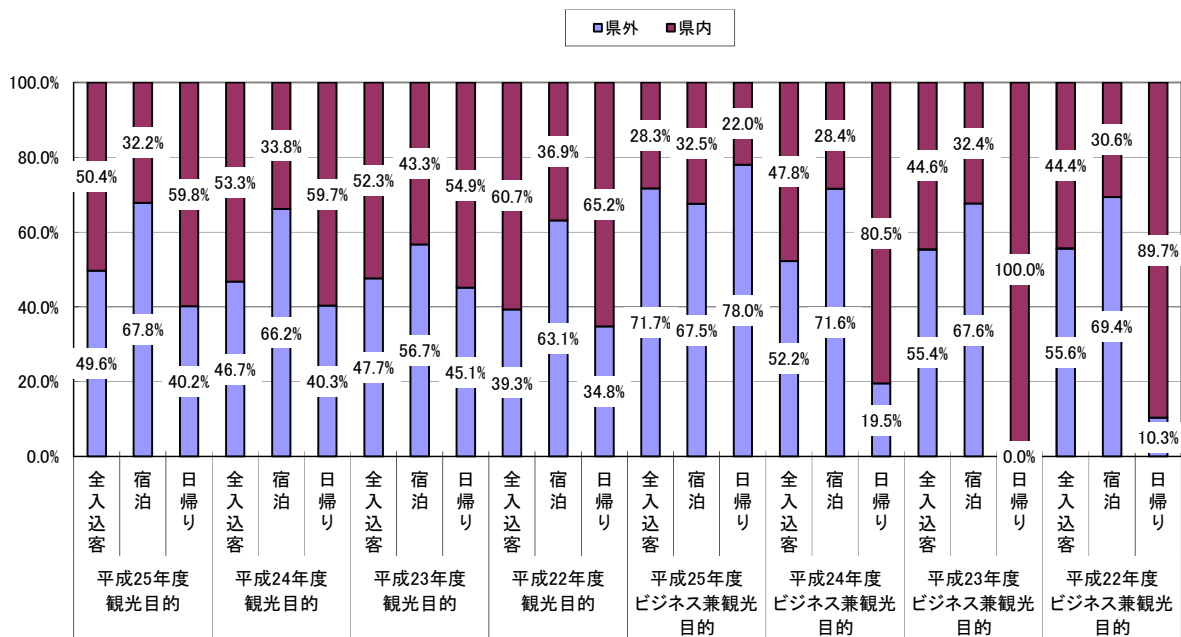


図 9-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れた訪日外国人宿泊客数は、平成 24 年度比 175.0%、平成 23 年度比 700.0%、平成 22 年度比 82.4%であった。要因としては、東日本大震災津波の風評被害等が改善に向かい、外国人観光客が戻りつつあることなどが考えられる。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			4-6 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	14	11	3	16	16	0	30
平成 24 年度比	175.0%	220.0%	100.0%	皆増	皆増	-	375.0%
平成 24 年度 4-6 期合計	8	5	3	0	0	0	8
平成 23 年度比	700.0%	1100.0%	300.0%	皆増	皆増	-	1500.0%
平成 23 年度 4-6 期合計	2	1	1	0	0	0	2
平成 22 年度比	82.4%	84.6%	75.0%	皆増	皆増	-	176.5%
平成 22 年度 4-6 期合計	17	13	4	0	0	0	17



## (4) 観光消費額

### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 10 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 24 年度比 89.1%、平成 23 年度比 97.7%、平成 22 年度比 67.7%、県外客では、平成 24 年度比 105.3%、平成 23 年度比 108.6%、平成 22 年度比 88.6%である。県外客は平成 23 年度、平成 24 年度を超えている。要因として、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送により、県外からの沿岸地域へ訪れる人が増加するとともに、宿泊客の増加に伴い観光消費額が増加したものと考えられる。

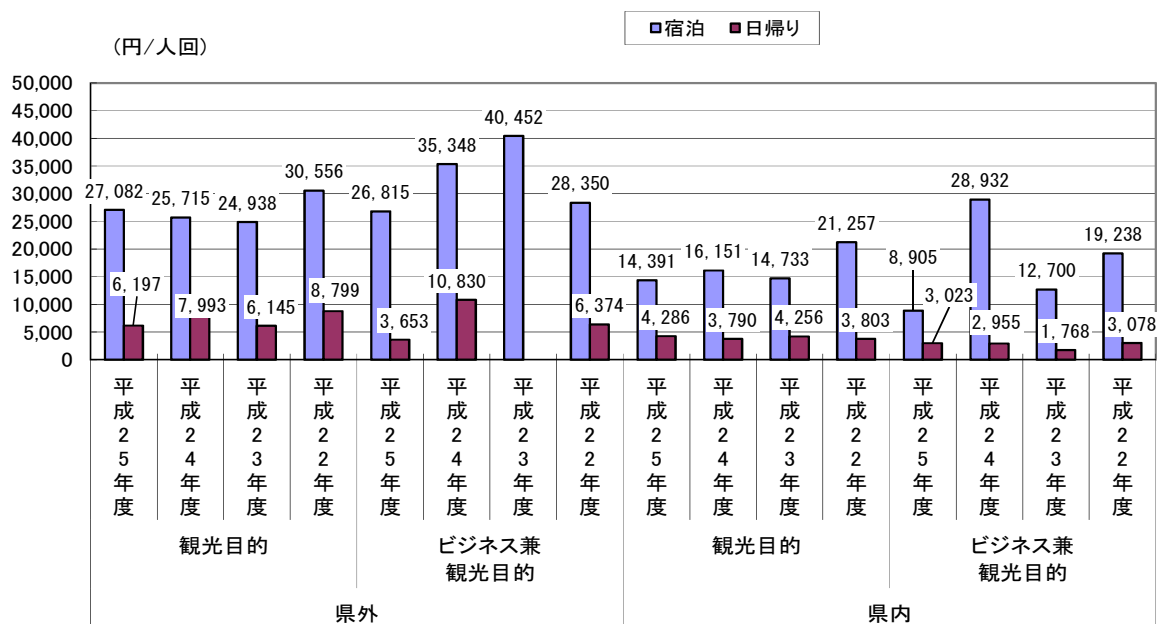
また、日帰り客の観光消費額単価は、県内客では、平成 24 年度比 113.1%、平成 23 年度比 100.7%、平成 22 年度比 112.7%、県外客では、平成 24 年度比 77.5%、平成 23 年度比 100.8%、平成 22 年度比 70.4%である。県内客は過年度よりすべて増加傾向にある。要因として、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送などで、居住地から遠方への来訪、立ち寄り観光地点の増加などが考えられる。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく 1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっているが、平成 23 年度からの県外・宿泊・日帰りの落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的 観光消費額単価	27,082	14,391	6,197	4,286
平成 24 年度比	105.3%	89.1%	77.5%	113.1%
平成 24 年度 4-6 期観光消費額単価	25,715	16,151	7,993	3,790
平成 23 年度比	108.6%	97.7%	100.8%	100.7%
平成 23 年度 4-6 期観光消費額単価	24,938	14,733	6,145	4,256
平成 22 年度比	88.6%	67.7%	70.4%	112.7%
平成 22 年度 4-6 期観光消費額単価	30,556	21,257	8,799	3,803
ビジネス兼観光目的 観光消費額単価	26,815	8,905	3,653	3,023
平成 24 年度比	75.9%	30.8%	33.7%	102.3%
平成 24 年度 4-6 期観光消費額単価	35,348	28,932	10,830	2,955
平成 23 年度比	66.3%	70.1%	-	171.0%
平成 23 年度 4-6 期観光消費額単価	40,452	12,700	-	1,768
平成 22 年度比	94.6%	46.3%	57.3%	98.2%
平成 22 年度 4-6 期観光消費額単価	28,350	19,238	6,374	3,078



(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

図 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円/人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	60,988	72,305	14,068	10,110
平成24年度比	558.1%	108.0%	185.5%	131.0%
平成24年度 4-6期消費額単価	10,927	66,937	7,585	7,715
平成23年度比	22.9%	34.3%	25.1%	74.8%
平成23年度 4-6期消費額単価	266,585	210,500	56,085	13,517
平成22年度比	36.5%	164.1%	11.4%	62.3%
平成22年度 4-6期消費額単価	167,041	44,060	122,981	16,218

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 11 に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 85.3%、平成 23 年度比 100.0%、平成 22 年度比 65.5%である。日帰り・宿泊別では、宿泊は平成 24 年度比 104.0%、平成 23 年度比 132.0%、平成 22 年度比 95.7%と観光消費額が改善傾向にある一方、日帰りは平成 24 年度比 59.9%、平成 23 年度比 63.6%、平成 22 年度比 37.6%と減少が著しいことから、今後は日帰り旅行意欲の拡大、消費意欲の向上を図る取組が求められる。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 55.5%、平成 23 年度比 90.7%、平成 22 年度比 97.7%となっている。落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内	
観光目的 観光消費額	15,002	11,987	3,015	6,364	3,138	3,226	21,366
平成 24 年度比	104.0%	109.8%	86.1%	59.9%	50.3%	73.6%	85.3%
平成 24 年度 4-6 期 観光消費額	14,419	10,919	3,500	10,623	6,240	4,383	25,042
平成 23 年度比	132.0%	153.0%	85.4%	63.6%	57.8%	70.6%	100.0%
平成 23 年度 4-6 期 観光消費額	11,363	7,833	3,530	9,999	5,429	4,570	21,362
平成 22 年度比	95.7%	107.5%	66.6%	37.6%	33.5%	42.6%	65.5%
平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	15,681	11,155	4,526	16,937	9,363	7,574	32,618
ビジネス兼 観光目的観光消費額	8,921	7,690	1,231	993	805	188	9,914
平成 24 年度比	53.9%	61.6%	30.3%	75.7%	130.0%	27.1%	55.5%
平成 24 年度 4-6 期 観光消費額	16,541	12,484	4,057	1,312	619	693	17,853
平成 23 年度比	82.6%	81.9%	87.2%	735.6%	-	139.3%	90.7%
平成 23 年度 4-6 期 観光消費額	10,800	9,389	1,411	135	-	135	10,935
平成 22 年度比	91.5%	102.5%	54.8%	253.3%	1102.7%	58.9%	97.7%
平成 22 年度 4-6 期 観光消費額	9,751	7,506	2,245	392	73	319	10,143

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

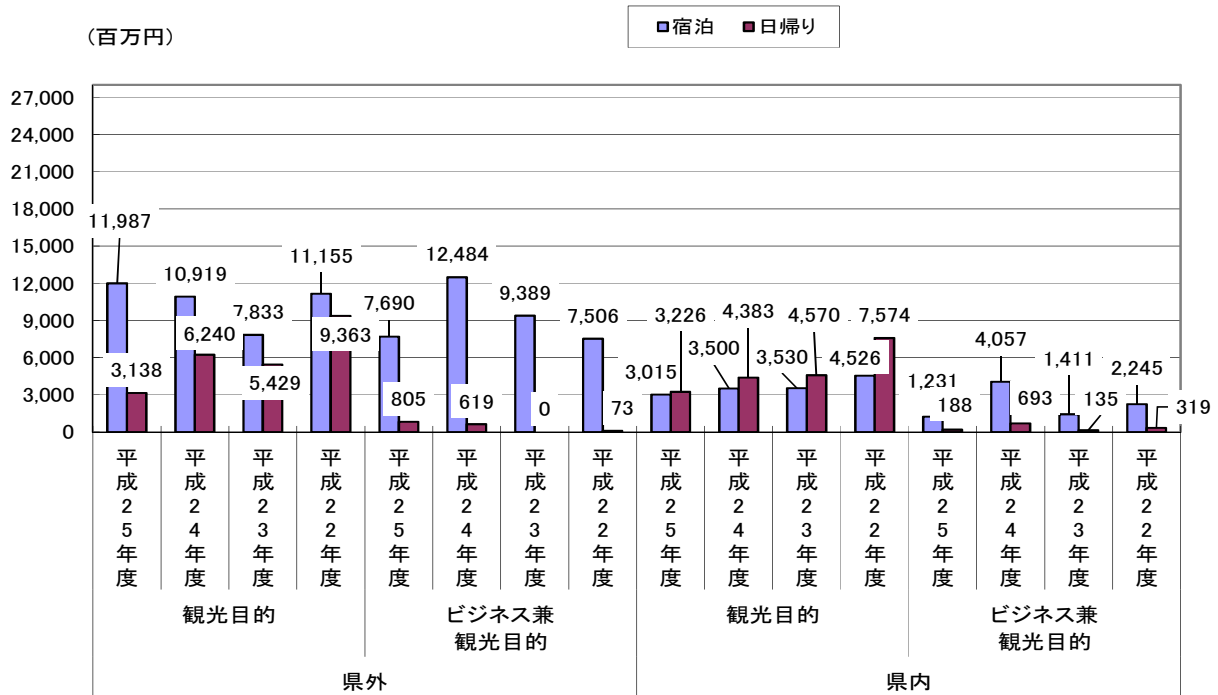


図 11 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 496.4%、平成 23 年度比 621.9%、平成 22 年度比 100.4%である。また、宿泊総額では、平成 24 年度比 396.0%、平成 23 年度比 496.1%、平成 22 年度比 80.1%であり、震災直後の平成 23 年度からは改善傾向にある。

一方、この観光消費額は、表 9 で示した観光消費額単価に、表 7 に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人観光消費額	883	655	228	224	224	0	1,107
平成 24 年度比	396.0%	1190.9%	135.7%	皆増	皆増	-	496.4%
平成 24 年度 4-6 期観光消費額	223	55	168	0	0	0	223
平成 23 年度比	496.1%	555.1%	380.0%	皆増	皆増	-	621.9%
平成 23 年度 4-6 期観光消費額	178	118	60	0	0	0	178
平成 22 年度比	80.1%	111.6%	44.2%	皆増	皆増	-	100.4%
平成 22 年度 4-6 期観光消費額	1,103	587	516	0	0	0	1,103

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成25年6～7月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 760件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	6/15	78	327
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	6/22	84	386
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	6/16	82	348
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	6/16	37	121
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	6/22	80	347
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	6/30	64	383
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	6/29, 6/30	84	426
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	6/29, 6/30	89	190
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	7/6, 7/7	71	343
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	7/6, 7/7	75	486
合計				760	3,357

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図12である。

この結果、アンケート調査回答者の4割弱(36.8%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約6割強(63.2%)である。海外からの来訪者は1人(0.2%)であった。

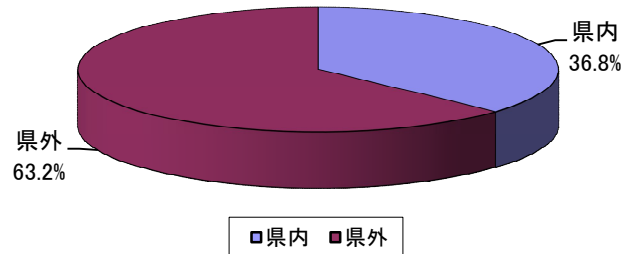


図12 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図13である。県外客で最も人数が多いのは宮城県(16.5%)、次いで青森県(15.2%)、秋田県(11.7%)、東京都(10.4%)であり、これらの4都県で5割以上(53.8%)を占めている。

なお、岩手県を除き36都道府県から来訪されていることが分かる。

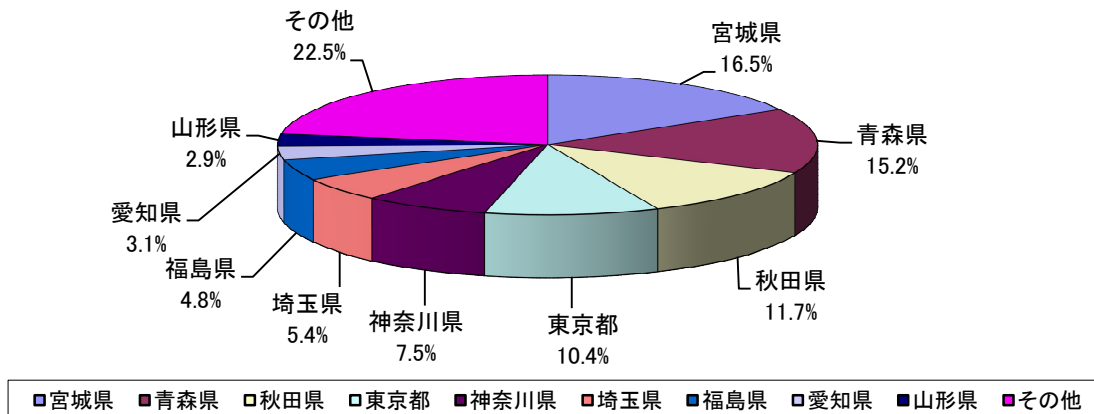


図13 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

宮城県	青森県	秋田県	東京都	神奈川県	埼玉県	福島県	愛知県	山形県
79人	73人	56人	50人	36人	26人	23人	15人	14人
16.5%	15.2%	11.7%	10.4%	7.5%	5.4%	4.8%	3.1%	2.9%
千葉県	栃木県	茨城県	新潟県	大阪府	長野県	福岡県	北海道	静岡県
14人	13人	10人	9人	8人	6人	6人	5人	5人
2.9%	2.7%	2.1%	1.9%	1.7%	1.3%	1.3%	1.0%	1.0%
群馬県	京都府	岡山県	石川県	山梨県	岐阜県	兵庫県	長崎県	富山県
3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	1人
0.6%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%
三重県	滋賀県	和歌山県	鳥取県	広島県	徳島県	香川県	高知県	熊本県
1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、性別の構成をみると女性が若干多い(50.9%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図15である。この図より、合計、岩手県外来訪者では「60歳代」(合計：23.8%、岩手県外：25.8%)、岩手県内来訪者では「50歳代」最も多いことがわかる。(岩手県内：24.6%)また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、50歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：52.8%、岩手県外：53.5%)

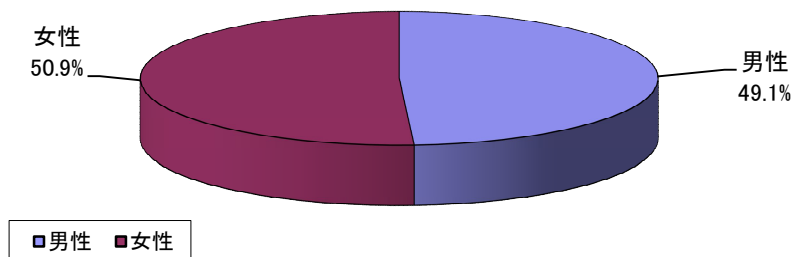


図14 来訪者の性別

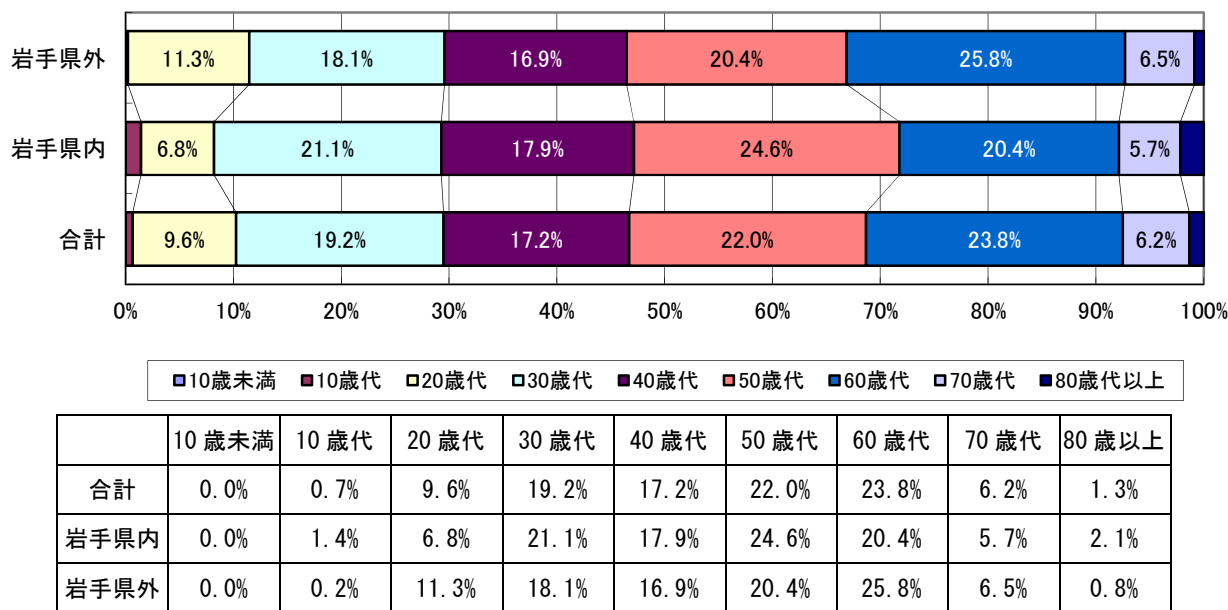


図15 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図16である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（48.6%）と宿泊（51.4%）がほぼ同じ割合であった。

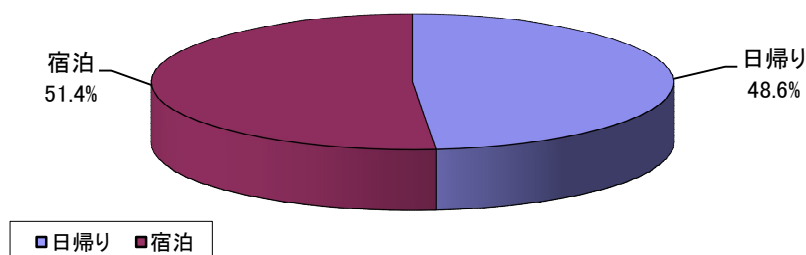


図16 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図17、18である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の半数以上（56.5%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が7割近くであった。（69.7%）

※宿泊数平均 2.3(泊) 県内宿泊数平均 1.8(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類の数を集計しグラフ化したのが図19である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ9割（91.0%）は、宿泊施設の種類の数は「1種類」であった。

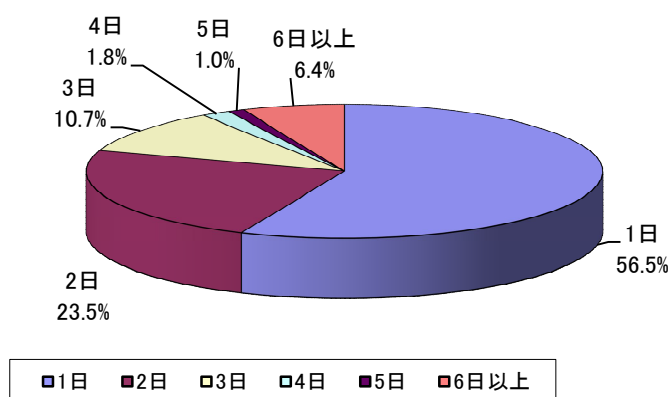


図17 宿泊数（全日程）

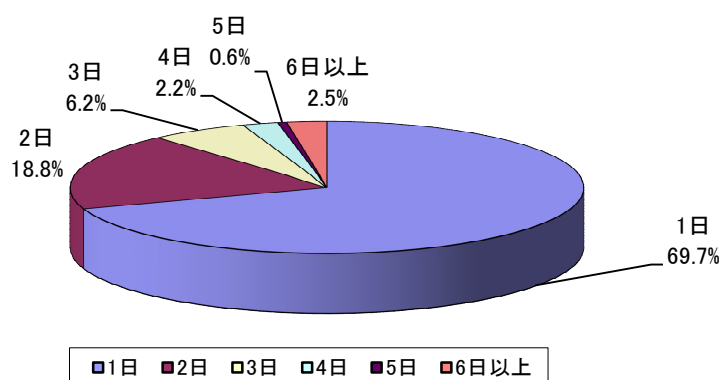


図18 岩手県内宿泊数



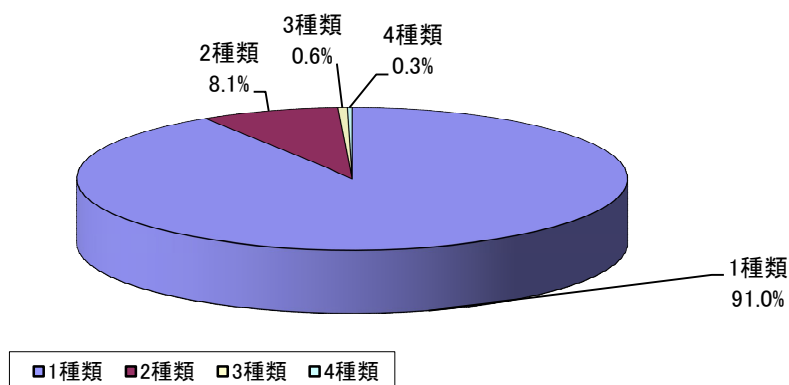


図 19 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 20 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(54.1%) が最も多く、次いで「旅館」(19.0%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(17.2%) であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 5%未満であった。

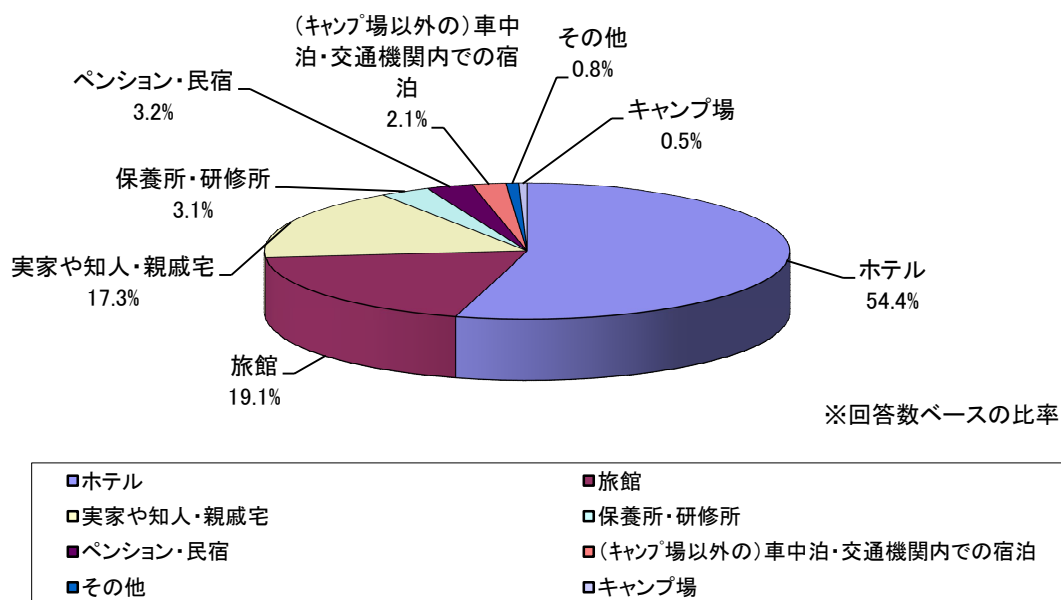


図 20 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

実家や知人・親戚宅	旅館	ホテル	ペンション・民宿	保養所・研修所
17.2%	19.0%	54.1%	3.2%	3.1%
67人	74人	211人	11人	12人
キャンプ場	(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	別荘・リゾートマンション	会員制の宿泊施設	その他
0.5%	2.1%	0.5%	0.0%	0.8%
2人	8人	2人	0人	3人

#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図21である。訪問の目的は「観光」が3/4以上を占めており（76.7%）、次いで「ビジネス」（7.0%）、「帰省・知人訪問」（5.1%）である。

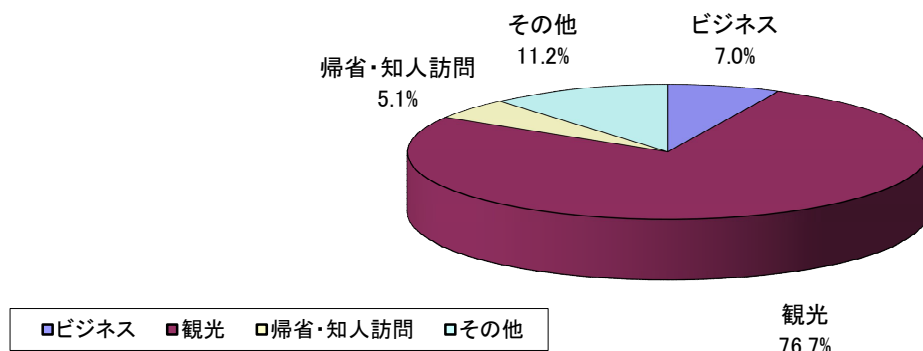


図21 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図22である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（40.9%）であり、次いで「3人」（15.3%）、「4人」（13.6%）であった。

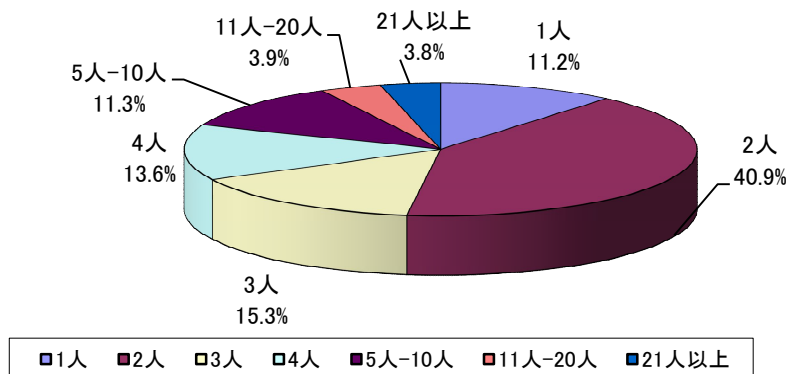


図22 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図23である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（64.3%）で、回答者全体の約6割強を占めた。次いで「友人」（21.0%）、「職場・学校等の団体旅行」（7.5%）などである。

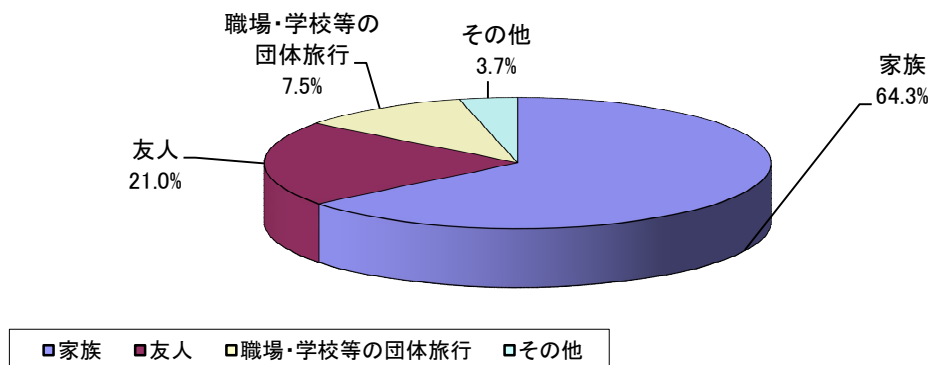


図23 同行者のタイプ

### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6、7は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち9割以上(91.8%)が「知っている」と回答した。

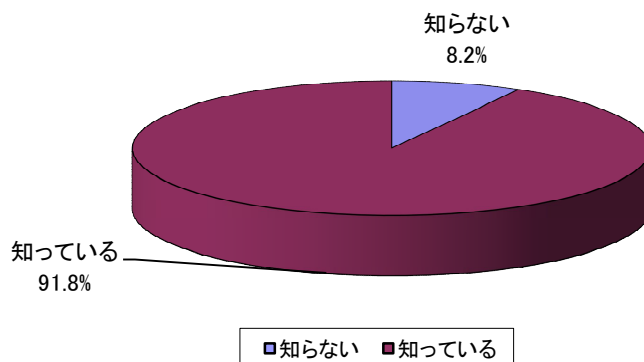


図24 観光地訪問の認知

### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。岩手県への訪問の認知を質問したところ、約9割(90.3%)の来訪者が「知っている」と回答した。

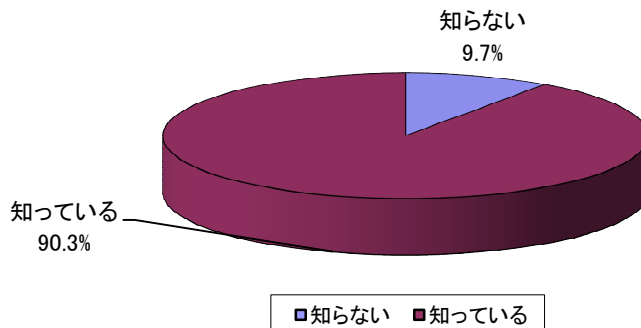


図25 岩手県訪問の認知(岩手県外来訪者)

### (8) 問8 観光地への交通機関

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図26である。この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(67.1%)であり、次いで「JR新幹線」(15.9%)、「貸切バス・観光バス」(5.8%)であった。この上位3位で全体の9割近く(88.8%)を占めている。

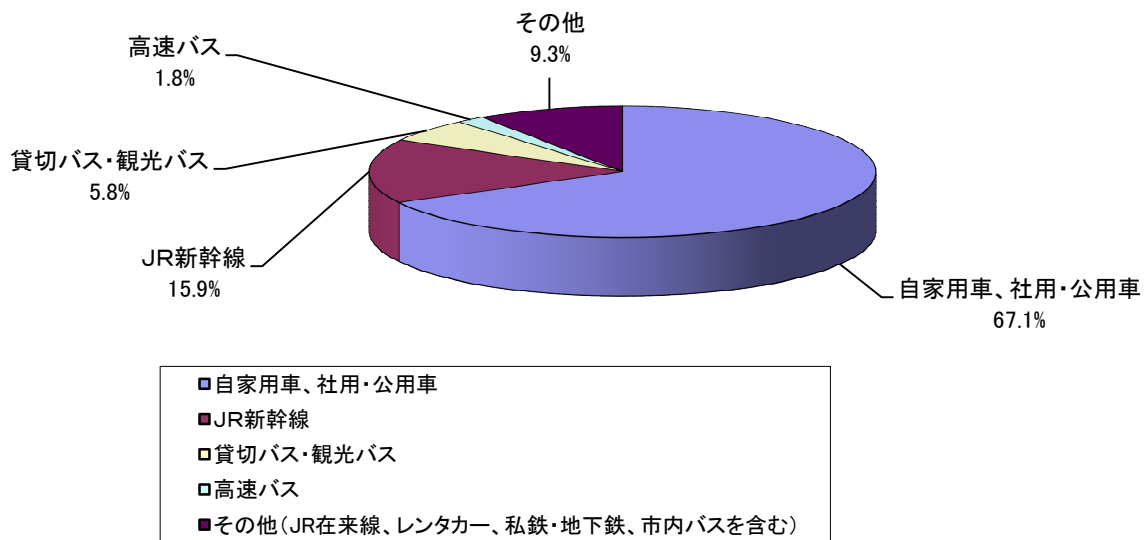


図26 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳（比率）

J R新幹線	J R在来線	私鉄・地下鉄	モノレール
15.9%	0.9%	0.0%	0.0%
貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車
5.8%	1.8%	0.4%	0.0%
タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
0.1%	0.7%	67.1%	7.2%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図27、28であり、岩手県外に置ける交通費を集計したグラフが図29、30である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約6割(59.1%)が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約8割(80.4%)を占めているのに対し、県外からの来訪者は約半数(46.7%)にとどまり、残りの半数以上(53.3%)は2,000円以上を支出している。

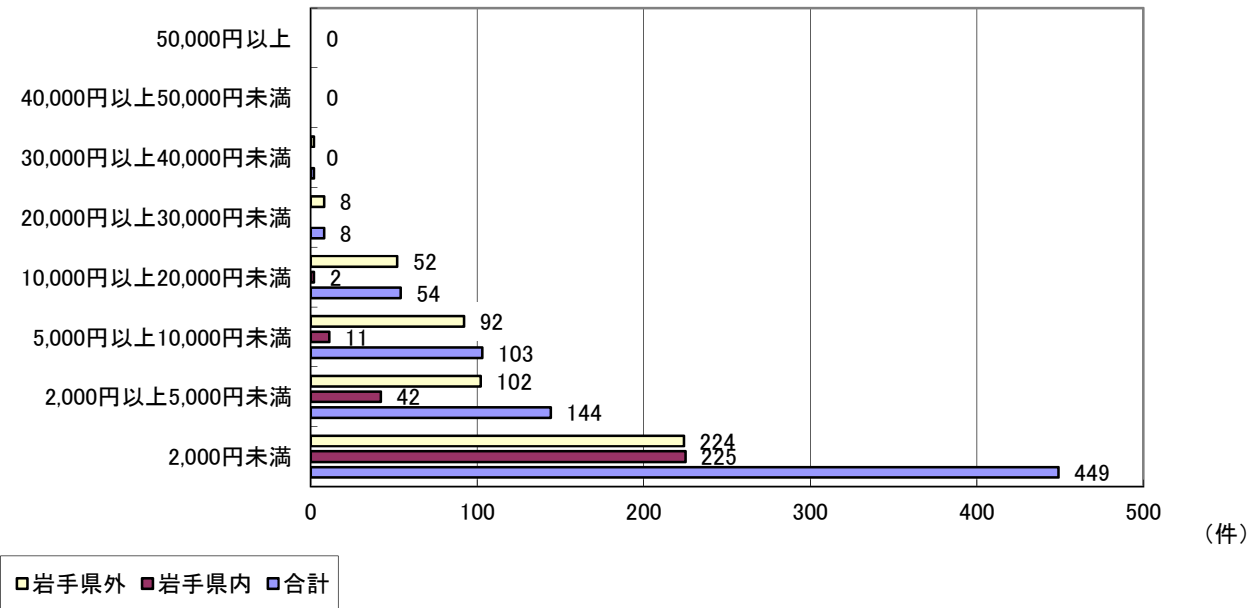
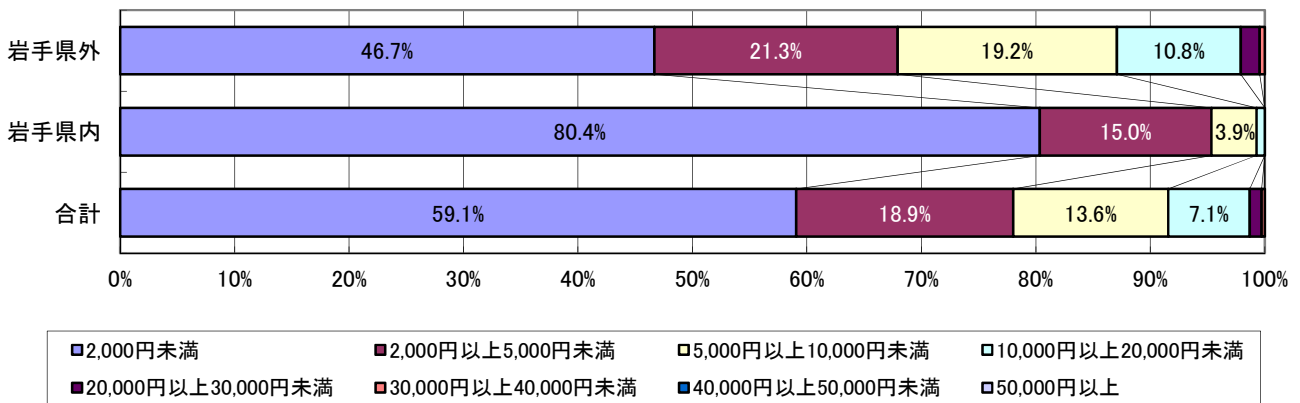


図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



	2,000円未満	2,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上40,000円未満	40,000円以上50,000円未満	50,000円以上
合計	59.1%	18.9%	13.6%	7.1%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%
岩手県内	80.4%	15.0%	3.9%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	46.7%	21.3%	19.2%	10.8%	1.7%	0.4%	0.0%	0.0%

図28 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の半数強（54.7%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で10割（100%）を占めるものの、県外からの来訪者では2割強（28.3%）となっている。県内からの来訪者全員が岩手県内のみの旅程であることが窺える。

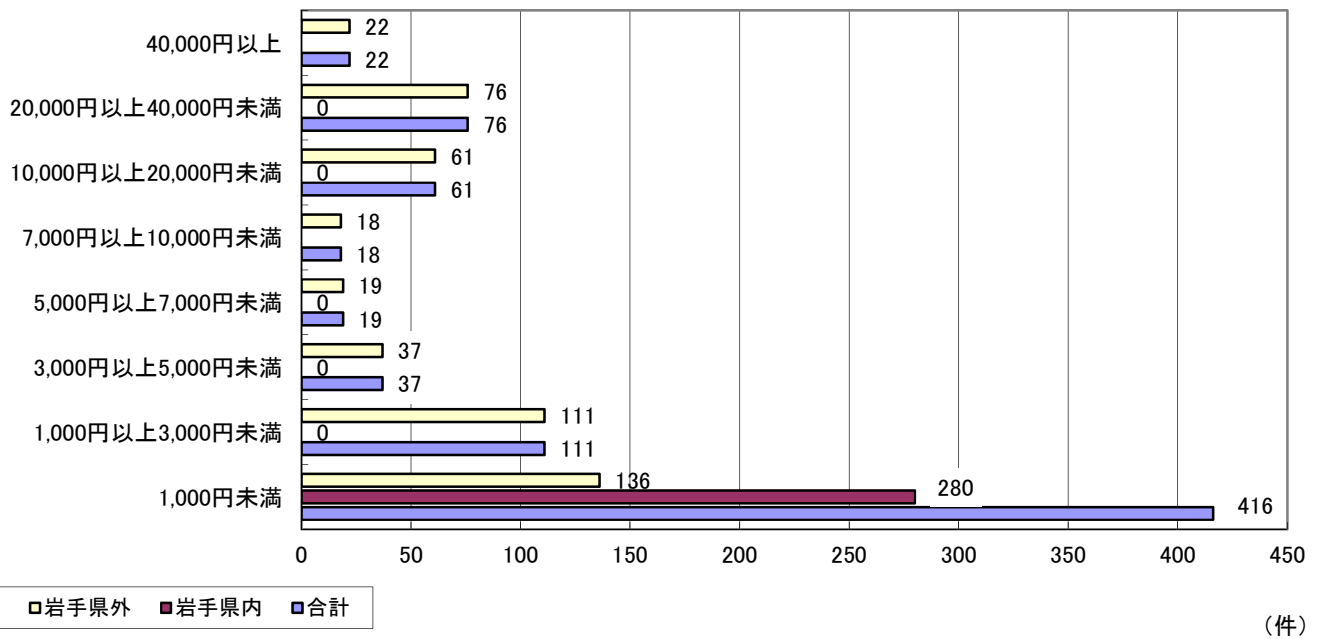
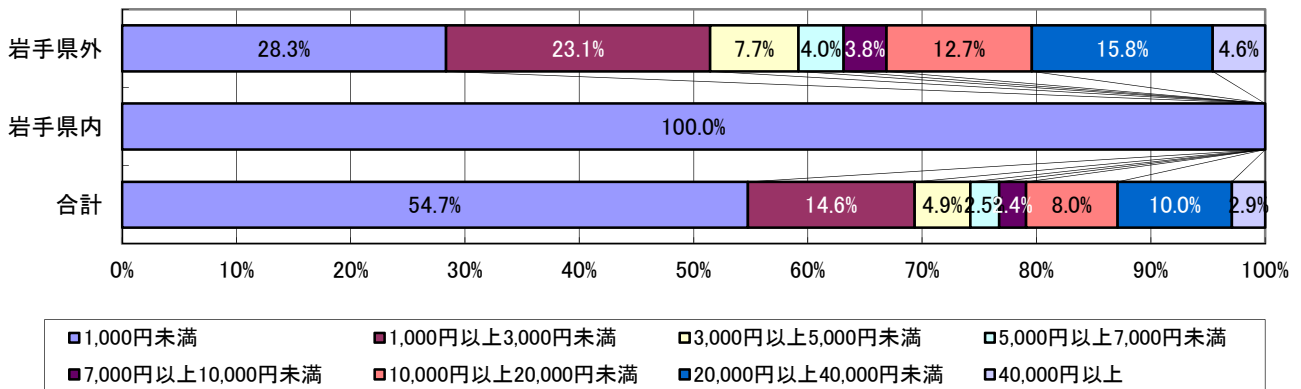


図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	54.7%	14.6%	4.9%	2.5%	2.4%	8.0%	10.0%	2.9%
岩手県内	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	28.3%	23.1%	7.7%	4.0%	3.8%	12.7%	15.8%	4.6%

図30 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図31、32である。宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約3割（31.7%）を占めていることに所以する。

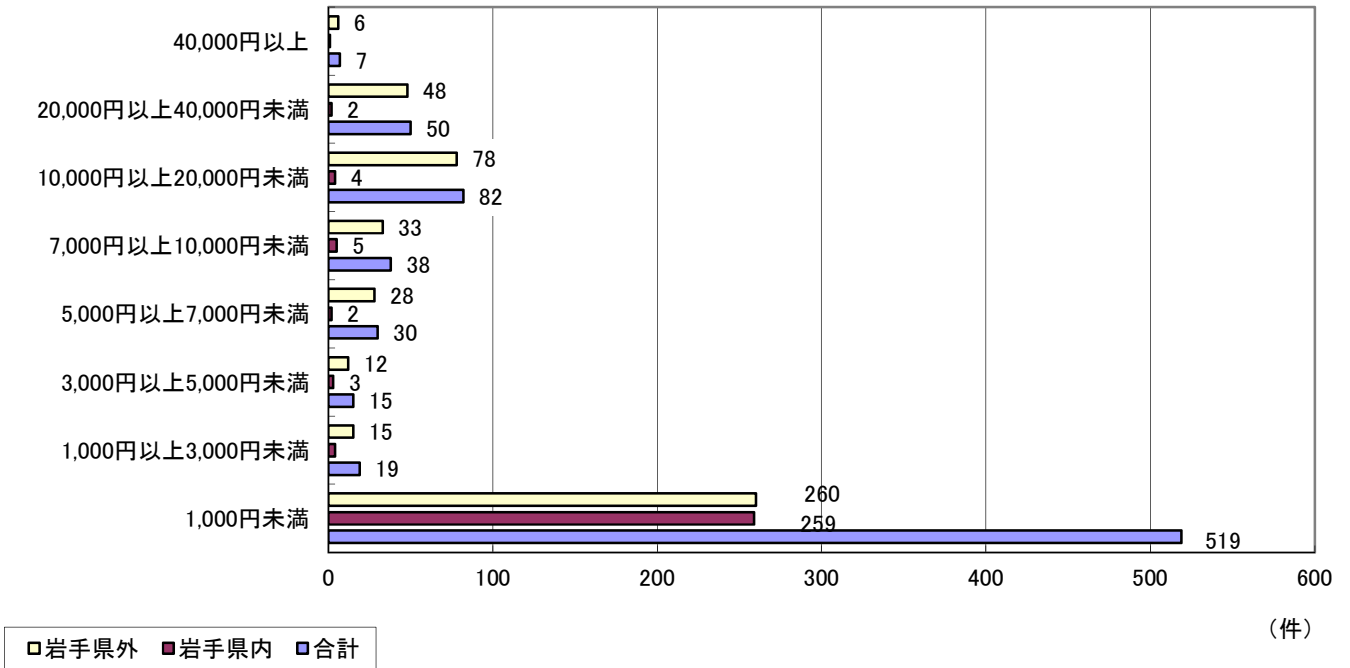
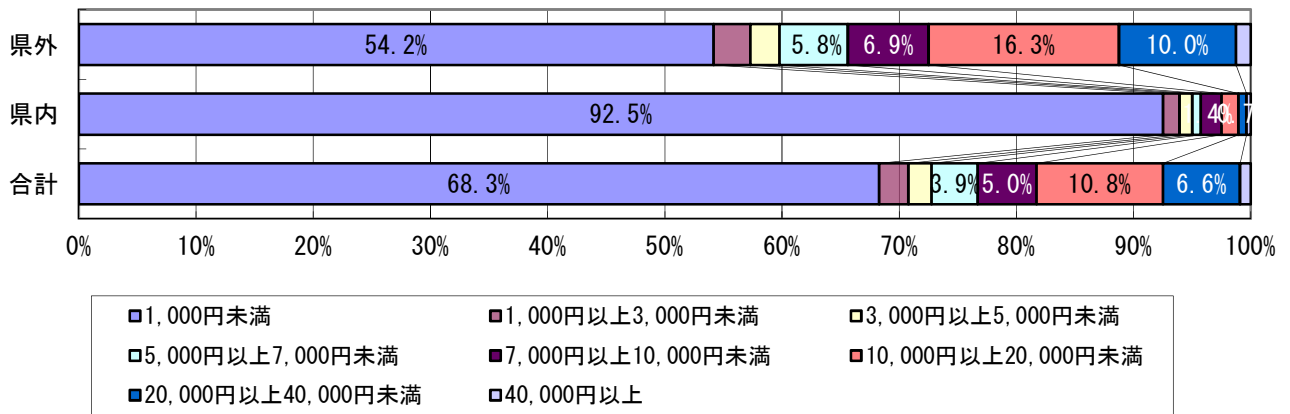


図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	68.3%	2.5%	2.0%	3.9%	5.0%	10.8%	6.6%	0.9%
岩手県内	92.5%	1.4%	1.1%	0.7%	1.8%	1.4%	0.7%	0.4%
岩手県外	54.2%	3.1%	2.5%	5.8%	6.9%	16.3%	10.0%	1.3%

図32 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図31、図32で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックスツアー利用者を除外して再集計しグラフ化したものが、図31-1、図32-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上（～20,000円未満項目）」に2つのピークがあり、前者が約4割、後者が約2割弱であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の約2割弱（17.3%）が影響しているものと思われる。また、県内・県外の来訪者別での宿泊件数では、県外来訪者が県内来訪者の9倍以上であった（県内来訪者：38件、県外来訪者：353件）。

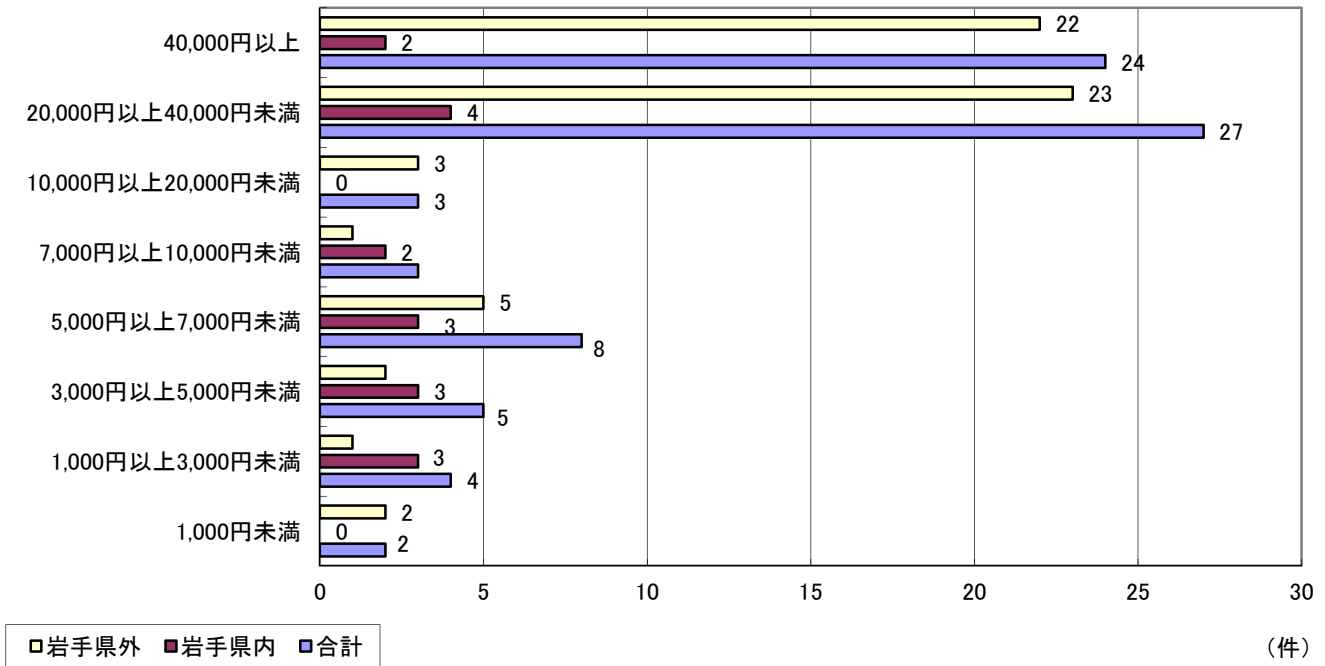


図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックスツアー利用者を除く宿泊者のみ)

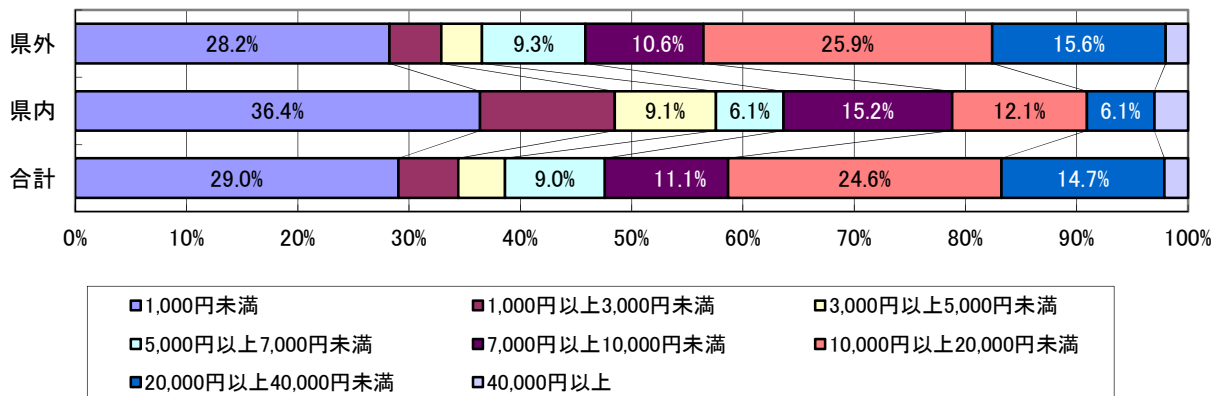


図32-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックスツアー利用者を除く宿泊者のみ)



本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図33、34である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円未満」が30.7%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は約8割（82.5%）となり、県外からの来訪者は約半数（48.1%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった（県内来訪者：17.5%、県外来訪者：51.9%）。

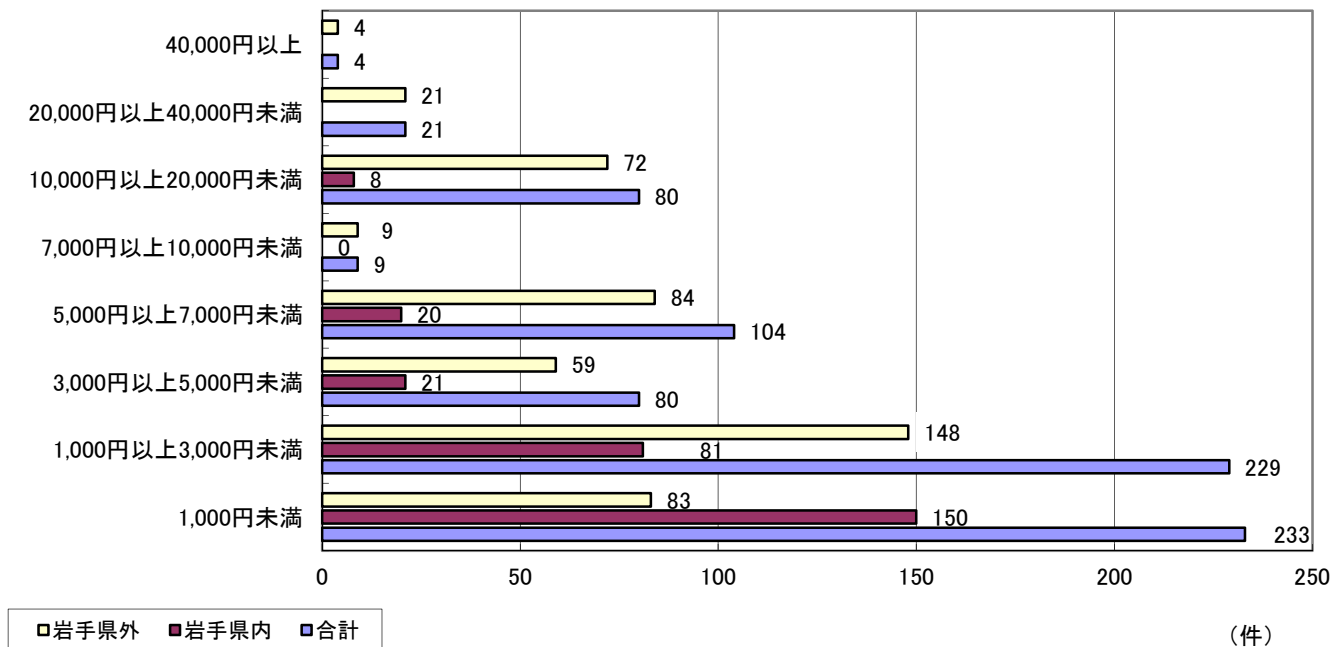


図33 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・件数）

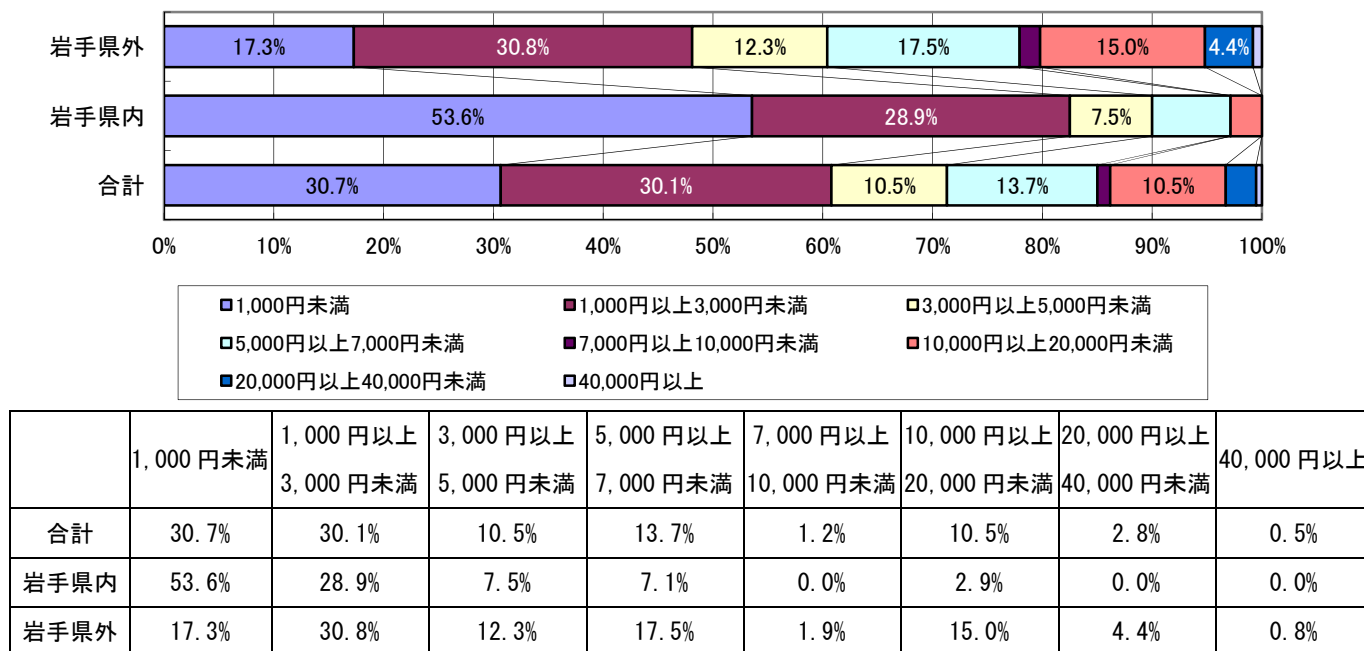


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図35、36である。

この図より1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が38.9%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「5,000円以上 7,000円未満」がほぼ支出の上限であり、7,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者の支出が大半であった（県内来訪者：2件、県外来訪者：67件）。

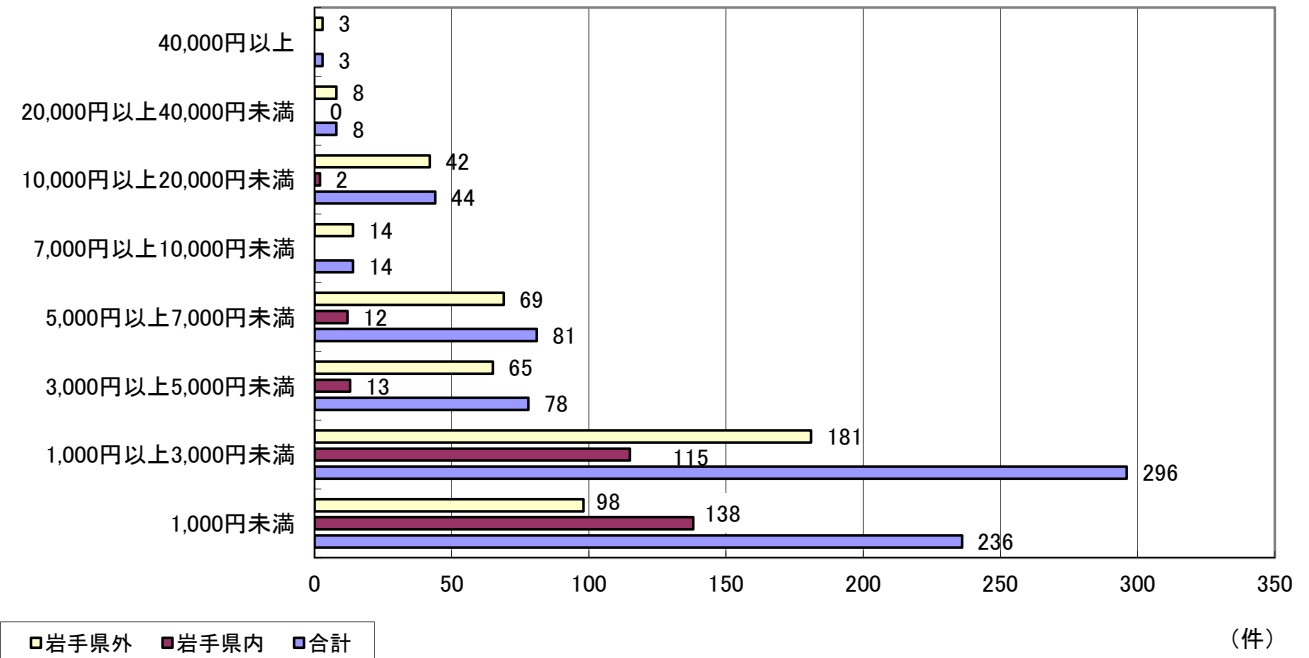
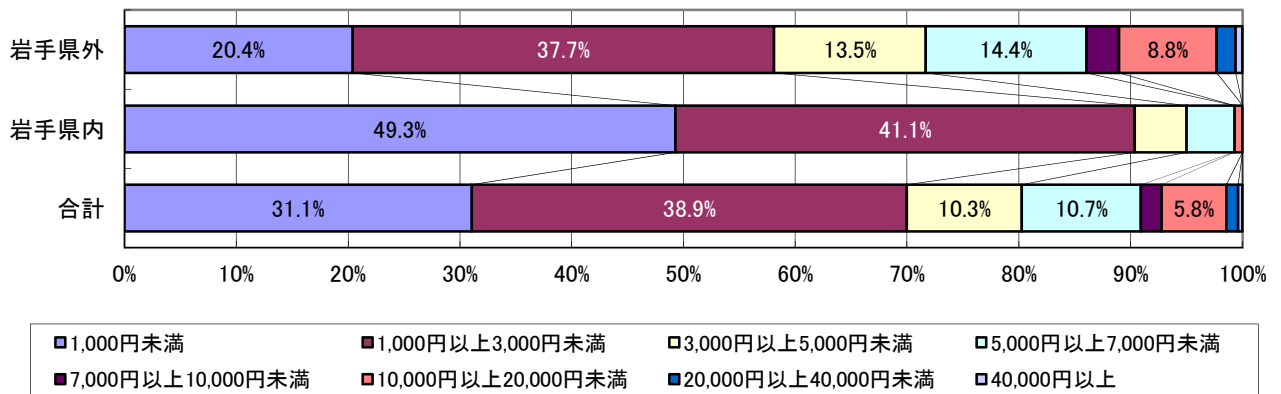


図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	31.1%	38.9%	10.3%	10.7%	1.8%	5.8%	1.1%	0.4%
岩手県内	49.3%	41.1%	4.6%	4.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
岩手県外	20.4%	37.7%	13.5%	14.4%	2.9%	8.8%	1.7%	0.6%

図36 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問の結果、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図37、38である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：92.1%、県外来訪者：76.0%）。

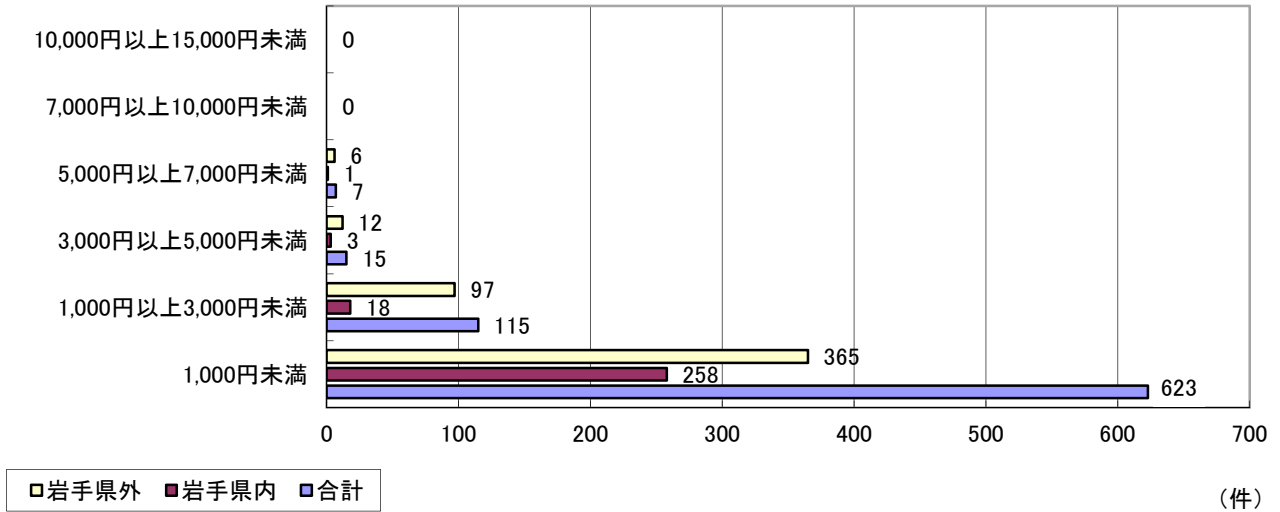
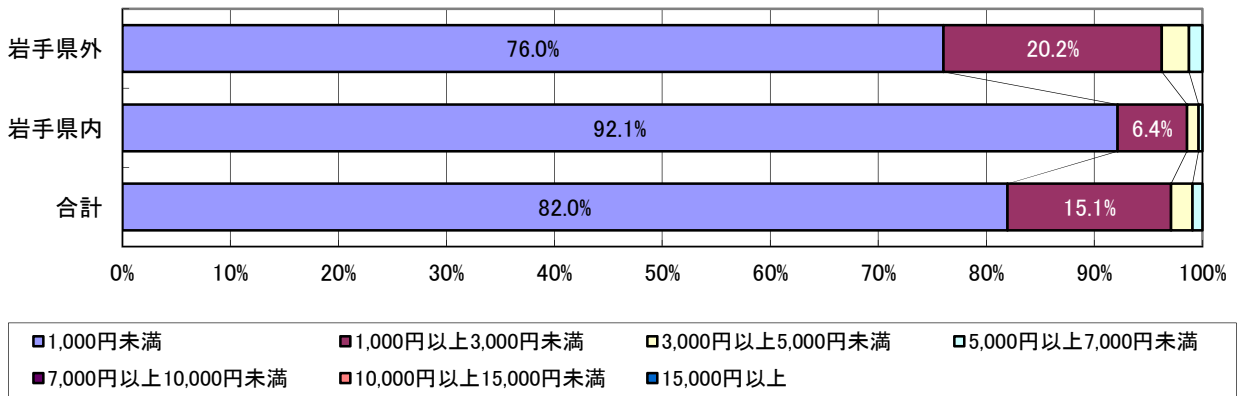


図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	82.0%	15.1%	2.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	92.1%	6.4%	1.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	76.0%	20.2%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%

図38 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図39、40である。  
この図より、1人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が98.9%と、9割以上を占めている。

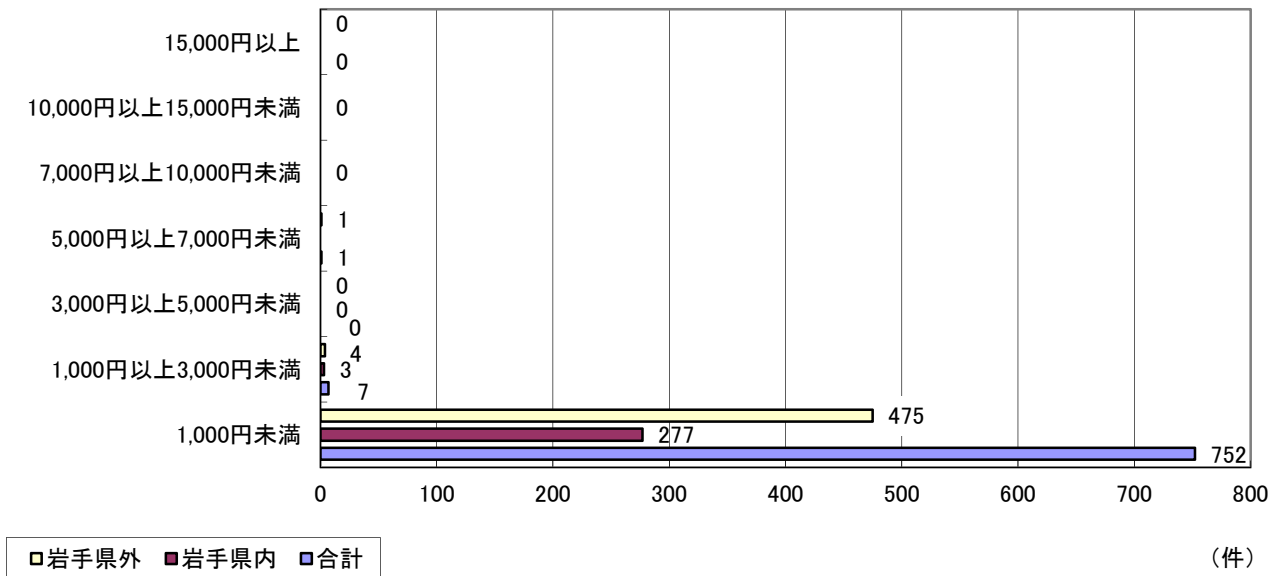
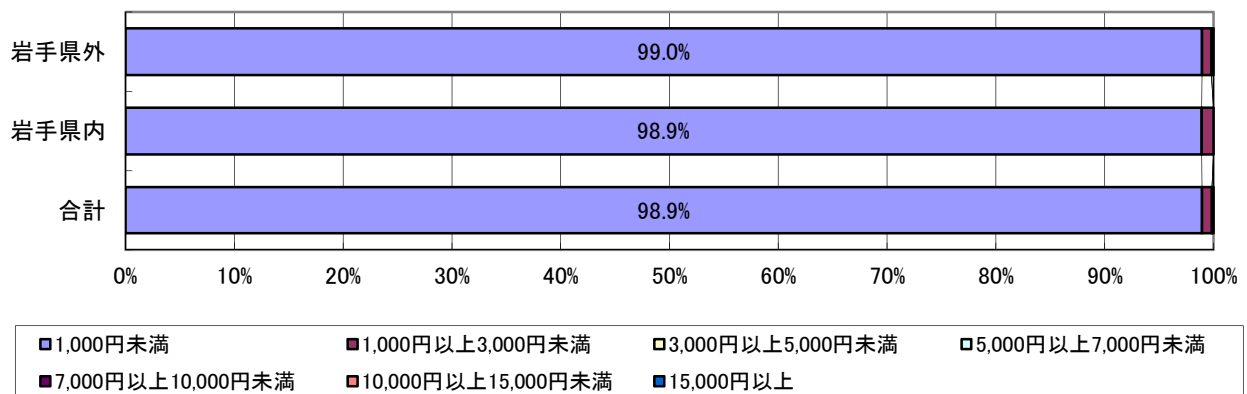


図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	98.9%	0.9%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	99.0%	0.8%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

図40 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問の結果、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図41、42である。  
 この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割以上（93.4%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所由する。

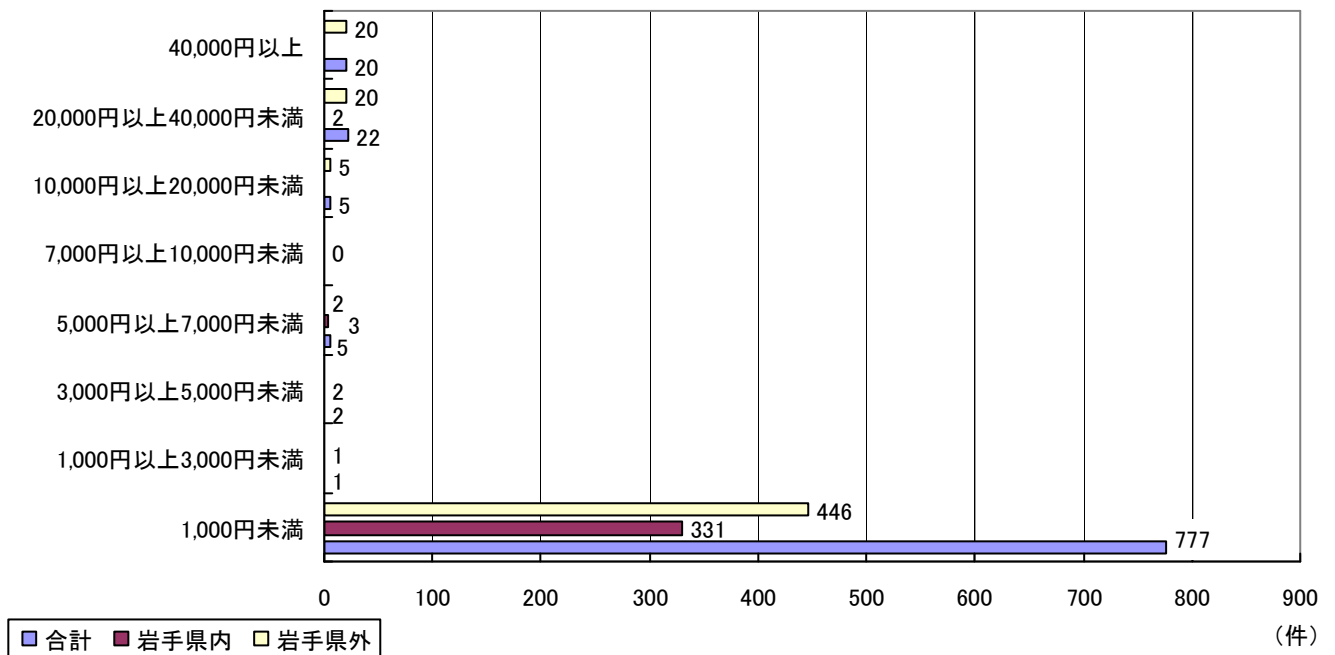
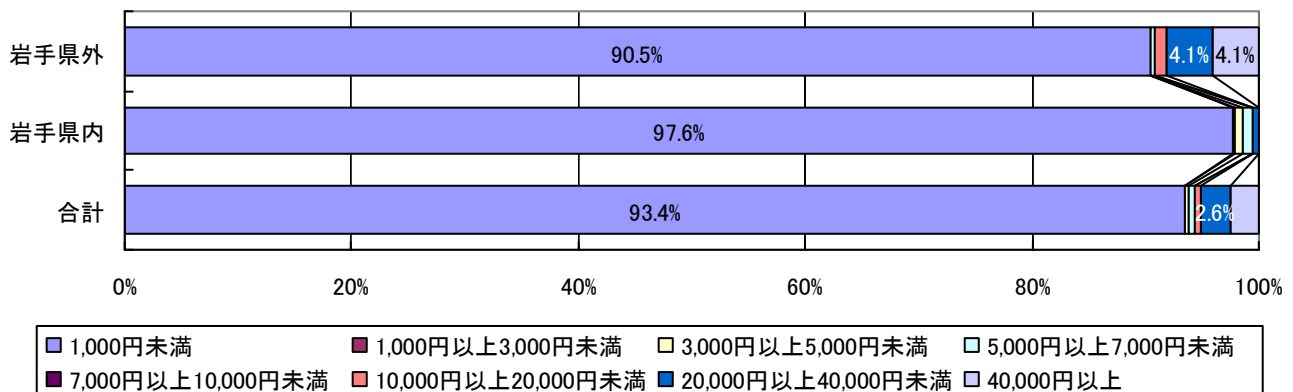


図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	93.4%	0.1%	0.2%	0.6%	0.0%	0.6%	2.6%	2.4%
岩手県内	97.6%	0.3%	0.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
岩手県外	90.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.0%	4.1%	4.1%

図42 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図41、図42で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計しグラフ化したものが、図41-1、図42-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 7,000円未満が5割以上（52.8%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が8割を超えている（81.4%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の3倍以上であった（県内来訪者：17件、県外来訪者：59件）。

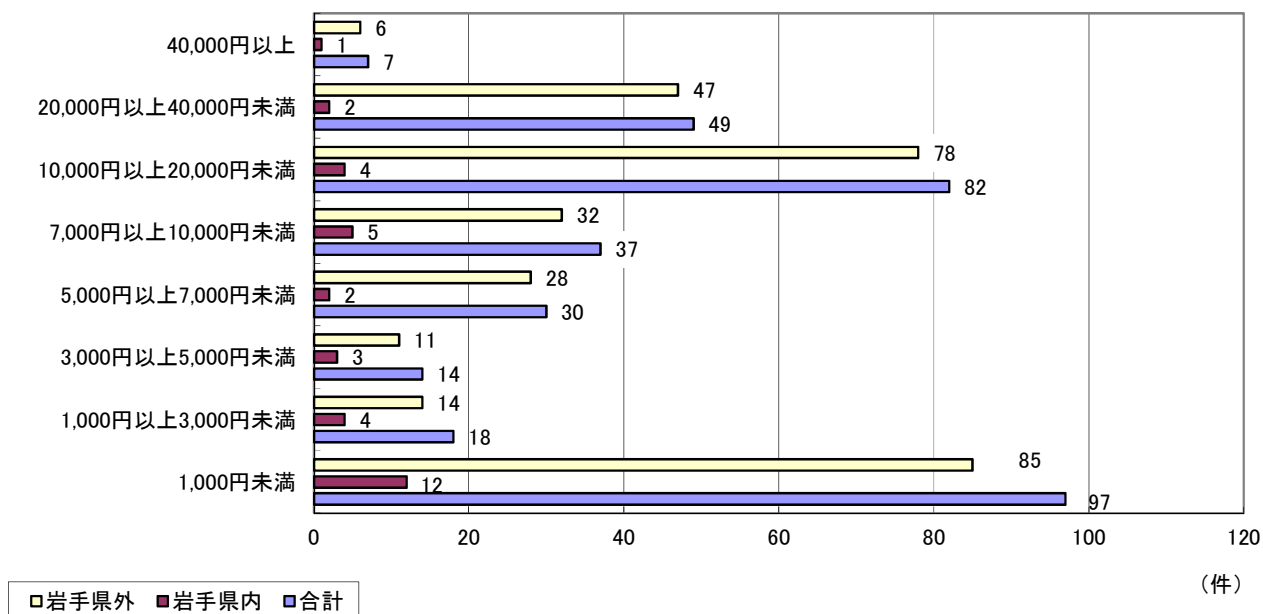


図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・件数 パックツアー利用者のみ)

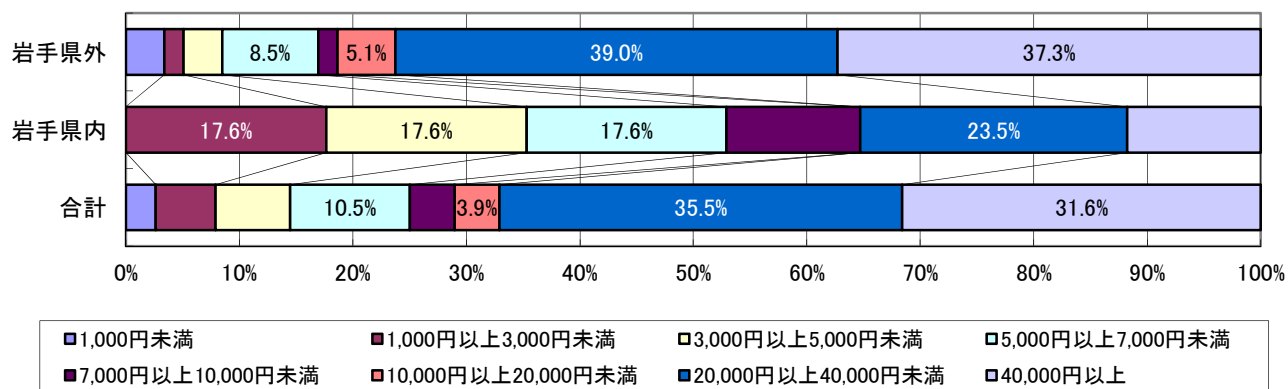


図42-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・比率 パックツアー利用者のみ)

	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	2.6%	5.3%	6.6%	10.5%	3.9%	3.9%	35.5%	31.6%
岩手県内	0.0%	17.6%	17.6%	17.6%	11.8%	0.0%	23.5%	11.8%
岩手県外	3.4%	1.7%	3.4%	8.5%	1.7%	5.1%	39.0%	37.3%